

金光学園

やっなみ

2018. 7





高校入学式



中学入学式



中学ゆずり葉の会

平成29年度の「中学ゆずり葉の会」が義務教育修了式後に、ほとま体育館で行われました。

1年生は、元気なダンスから始まり、美しい合唱と呼びかけで感謝の思いを伝えました。

2年生は、金光学園クイズを中3のみならず、在校生や保護者の方々をも巻き込んで行い、会場全体を盛り上げました。最後に歌った「栄光の架橋」の歌声と呼びかけでは、先輩への感謝と共に、次の最高学年は自分たちであるという決意を表しました。

3年生は、中学最後の行事です。実行委員会は12月から動き始めました。出し物のテーマは「I believe my way、仲間を信じて」



です。「3年間の軌跡をたどると、そこにはいつも肩を叩き合い、笑いあった18人の仲間がいました」というアナウンスにもあったように、この18人でできる最後の行事をやりきるといって、実行委員が立ち上がりました。本格的な練習が始まったのは学年末テスト後です。それまでの約2カ月間、実行委員は昼休みや放課後に何度も集まってアイデアを練り、内容を綿密に考えました。その内容をクラスごとの実行委員から広げていき、1つ1つを丁寧な形にしていきました。日中の練習だけでなく、放課

後はパートごとの練習も実行委員主体で行っていき、本番が迫るにつれて18人全員の熱気が盛り上がっていききました。どのような出し物になるのかワクワクする在校生・保護者の気持ちをさらに高め、ボディーカッションで会場をさらに盛り上げました。有志による迫力あるダンスと、集団によるダンスは、背後で体育会に用いられた5色クラスカラー旗がふられ、会場を大きく活用し見るものを圧倒しました。

「10年後の私」と題して、18人1人ひとりの将来像を紹介したスライドアカペラ、「旅立ちの日に」の全体合唱で会場を和やかなムードに一変させました。

この学年のメインの出し物ともいえる、全員でのパネル演出。息の合った演出を大鼓の音に合わせてリズムよく行い、中3の強い団結力を見ることができました。

最後に有志による構成詩をしてからの全体合唱「友へ旅立ちの時」。構成詩では家族・先生・友に向けてそれぞれの思いを言葉にのせて表現しました。感動のムードが会場を包み込む中、合唱は男女3パートがそれぞれバランスよく熱唱し、30分という舞台を締めくくりました。



部活動を通して心身を鍛錬し、社会性を学ぶ

佐藤 桂子

梅雨空からのぞく日射しがすっかり夏らしくなっております。皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

金光学園では、部活動が非常に盛んで運動部、文化部が毎年のように全国大会や全国大会に出場、輝かしい成績を残されています。これもひとへにご父兄、さらにはご多忙にもかかわらず熱心にご指導いただいている先生方、そして練習、鍛錬にいそしんでいる生徒様の努力の賜物と存じます。この場を借りて深く御礼申し上げます。

学生生活における部活動には、どのような意味があるのでしょうか？

昨今、とある学生スポーツ部がフェアプレーに反するような行為があったとしてそのあり方が問題となつていきます。心身の鍛錬、仲間との社会性を学べるすばらしい機会が部活動ではないでしょうか。地区予選や地区大会が始まっています。生徒様のご活躍をお祈り申し上げます。くれぐれもお怪我などなさいませぬよう、練習の成果を十二分に発揮されますよう、心から応援申し上げます。

(金光学園やつなみ保護者会副会長)

目次

巻頭言……………	1
金光学園 中学・高等学校入学式道(21)……………	2
学園生の故郷……………	10
活躍する卒業生……………羽仁 豊	12
やつなみ保護者会のページ……………	14
会長就任挨拶……………	16
友愛セールご協力のお祝い……………	18
活躍おめでとう……………	19
メタセコイヤ……………	20
探究授業報告……………	22
イギリス短期語学研修……………	23
ニュージールランド現地校交流プログラム……………	24
芸術鑑賞会……………	27
平成30年度大学入試結果……………	30
中1新入生歓迎会……………	33
中1入学時合宿……………	34
中3沖縄修学旅行……………	37
中2山の学習……………	40
会報……………	43
やつなみ保護者会地区会……………	44
高3人権講演……………	45
ある日のホームルーム……………	48
オープンスクール……………	49
法人決算の概要……………	52
保護者会決算・予算……………	54
生徒会活動……………	56
学園だより……………	57
教室の窓から……………編集後記	60
	69
	72

金光学園 中学・高等学校 入学式

4月9日、入学式が挙行された。中学は午前9時から135名が、高校は午後1時30分から195名(留学生1名含む)が、来賓・保護者・教職員の祝福を受けて新たな出発をした。

校長式辞の後、中学は一谷優陽君が、高校は竹本華朋さんがそれぞれ「願いの言葉」を力強く述べた。続いて学校法人理事長の挨拶、来賓を代表して中学は金光教務総長 西川良典氏、高校は教会部長 田淵美賀雄氏の祝辞があり、次に、保護者を代表して中学は木地広樹氏、高校は加賀直美氏の挨拶があった。終わりに、中学は生徒会事務局と音楽部による学園歌紹介、高校は学園歌斉唱で式の最後が締めくくられた。

式辞

校長 金光 道晴



今年是全国的に桜の開花が早く、すでに新緑の葉桜に代わり、正門の通りのメタセコイアも若葉が芽吹きはじめています。今朝は少し寒さが残っていますが、この穏やかな今日の良き日に新入生の皆さんを迎え、このように麗しく入学式を挙行できますことは大変嬉しく有り難いことであります。

ご来賓の皆様には公私ともご多用のところ、金光教務総長様をはじめ金光教関係の皆様には昨日まで大祭を仕えられ、やつなみ保護者会の役員の皆様にも、年度初めの大変お忙しい中を、お練り合わせてご臨席を賜り誠にありがとうございます。

保護者の皆様には本日は誠にありがとうございます。大切なお子様を、地元の中学校へ進学してもよいところを、この金光学園へ入学させていただきましたことを、心から御礼申し上げます。さて135名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

皆さんにとっては、今日から学園生活が始まります。皆さんが、これからの学園生活で、今までの小学校の時とは、違った所が沢山あります。例えば通学です。学校の近くから歩い

きた外国人の生徒や先生は120名を超えています。

きっと皆さんも、これから外国の人と接したり、交流したりする機会が度々出てくると思います。

行事もさかんです。今月で言えば、さつそく来週末には1泊2日の入校時合宿も計画されています。再来週予定されている生徒会主催の新入生歓迎会では、中2や中3の先輩の生徒達が、新入生の皆さんを歓迎し、学校紹介や部活動紹介などもあり、楽しい行事となっています。

慣れるまでは少し大変なこともあるかと思いますが、楽しいことや頑張れることが一杯ありますから、早く学校に慣れ、新しい友達をつくり、しっかりと勉強や部活動に取り組んで欲しいと思います。そして様々な体験を通して、これらの中学・高校の6年間で大きく成長していったいただきたいと願っています。共に頑張ってください。

ところで、この入学式後のホームルームで、皆さんには金光教の教祖様のみ教えが書かれている、このような日めくりを記念としてお渡ししますが、今日の9日の日は、この言葉が書いてあり



ます。後ろの人は見えるでしょう。か。人の身が大事か。人もわが身もみな人

という言葉です。私がこの学園の生徒であった時、もう何十年も前の事ですが、当時の佐藤一徳先生と言われる校長先生は、この字を自分で、長く幅の広い白い布に、毎年大きく書かれ、いつもみんなが見て大切にしているように、木造校舎の軒下に吊り下げておられたことを思い出します。

昨日の8日の日めくりには、「食物はみな人の命のために天地の神のつくりだたえ給うものぞ」という言葉が書かれています。この言葉には「何を飲むにも食べるにも有難ういただく心を忘れなよ」という言葉が続くのですが、食前訓として金光学園では食事の前に唱える言葉でもあります。皆さんも今後クラスで一緒にお弁当を食べる時や、入校時合宿の食事の時には唱えることとなります。

毎日の生活の中では、あたりまえで何

また、中学校では部活動がありますが、学園では沢山の文化部や運動部が活発に活動しています。入部は学校生活に慣れたの5月になってからになります。もう既にどの部に入るかを決め、楽しみにしている人もいます。また、本校は国際化教育・グローバル教育を積極的に進めているところで、昨年度1年間で、外国へ行き、しかも現地の家庭にホームステイした生徒は200名を超え、一方海外から本校にやって

て通学する人もいますが、多くの人は電車やバスや自転車を使っている。友達についても、同じ小学校から入学した人もいます。授業も小学校のように、担任の先生がほとんどの授業を教えるというのではなく、中学では、英語や数学や国語などそれぞれの教科の専門の先生によって授業が行われます。したがって1クラスを担当する先生も10人をはるかに超えることになります。新しい友達や色々な先生との出会いも、楽しみにして欲しいと思います。

でもないと思っっている食事がいただけることや水が飲めることにも感謝の気持ちを持たず、「人の身もわが身もみな同じ尊い人間で、かけがえのないもの」であること、そして「食べ物や飲み物は人の命を育んでいるもので、神様から与えられた天地の恵みであり大切なもの」であることが示されています。

そのような精神が元になってきたのが金光学園の合言葉「人をたいせつに自分をたいせつに 物をたいせつに」なのであります。これでありませう。

皆さんは入学前から何度か、この合言葉を見たり聞いたりしてきたと思います。3月のスクーリングで勉強した教室にも掲げられていたと思います。学園の全ての教室には、これと同じものが掲げられていますし、正面玄関前の石碑にも刻まれています。

ところで合言葉とはどんな言葉をいうのでしょうか。合言葉を辞書で引くと二つの意味が書いてあります。一つは前もって問いと答えを打ち合わせておく合図の言葉で、「山」と言えば「川」と答えるなどお互いが仲間であることを示す



方に近いものです。したがって、生徒の皆さんにだけ、守ってもらおうというものではありません。

生徒も保護者の方も私たち教職員も卒業生も全ての金光学園に関係する人、つまり仲間が行動の目標や目当てとするモットーで、みんなで努力しあっているという願いなのであります。私は、この合言葉こそ、いじめや差別はもとより、民族紛争や、国と国との対立、環境問題など、今日世界人類が抱えている全ての問題を解決するキーワードだと思っています。

新入生の皆さんには、これから卒業するまでに、何回も耳にするでしょうが、どうぞこれから6年間かけて合言葉の中

言葉とあります。もう一つは仲間同士の主張を端的に表わす行動の目標や指針となる標語とあります。学園の合言葉の意味は二番目の

法人理事長挨拶

佐藤 乃武雄



厳冬より、待ちわびた暖かき春も、すでに、新緑の候となり、新しき生命が蘇る絶好のご時節をお迎えする事となります。

私達の願い

中学新入生代表 一谷 優陽

やわらかな春の風に包まれ、今日、私達、新入生135名は、金光学園中学校の入学式を迎えることができました。憧れの伝統ある金光学園中学校に入学できたことを、とても嬉しく、また、たいへん誇りに思っています。

今、私達は、これから始まる中学校生活に大きな期待と不安な気持ちで一杯ですが、新しく出会った友達と一緒に、勉強や部活動、ほつま祭や体育会などの学校行事を頑張りたいです。また、一方で、「勉強についていけないだろうか」、「友達と仲良くできるだろうか」という不安もあります。しかし、金光学園の合言葉である「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」をいつも心に留めて、たくさんの友達と共に、協力し合い、中学校生活を楽しく、有意義に過ごしたいと思っています。

時には、困難な壁にぶつかれることもありますが、自分のできた目標を胸に、最後まで諦めず、頑張りたいと思っています。



本日は、私達新入生のために、このような素晴らしい入学式を行っていただき、本当にありがとうございます。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、多くの先生方、そして、先輩の皆様、何も分からない私達は、たくさんのご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、温かい目で見守り、ご指導してくださいませよう、どうかよろしくお願いたします。

このような新鮮な天地のお恵の中に、この度、見事に私立金光学園中学校入学試験に合格されました生徒の皆様方には、誠にありがとうございます。

今日まで育てて来られました、近隣各地の小学校の校長先生方をはじめ、保護者の皆様方には、合わせて心よりご祝辞とお慶びを申し上げます。

殊に、ご来賓の皆様方には、常よりお変わりなき温かきご理解とご支援を賜り誠に有難うございます。

さて、先の教主、四代金光様は「父母も子供と共に生まれたり、育たねばならぬ子も父母も」と仰せになっておられます。僧越ながら詠わせてもらいます。

「父母も子供と共に生まれたり育たねばならぬ子も父母も」と教えられました。が、ただ今からは、親も子も心機一転、共に祈り合い、共に育ち合う関係として、一家の絆を堅持し、やがて、大願とある大学進学のご願が実現されますよう切に御祈念申し上げます。

ご来賓の皆様方、保護者の皆様には益々のご健勝とご繁栄を祈り上げて、入学式のご挨拶とさせていただきます。

中1保護者代表挨拶

木地 広樹



新入生の保護者を代表いたしました。僭越ではありますが一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、子どもたちのために、このように厳粛かつ盛大な入学式を執り行っていたいただき、保護者一同心から御礼申し上げます。

また、先ほどは理事長先生、校長先生をはじめ、ご来賓の皆さまには心のもった励ましのお言葉を頂戴し、心より感謝申し上げます。親子ともども身の引き締まる思いであります。

さて、135名の新入生は貴重なご縁をいただき、金光学園での学校生活のスタートラインに立たせて頂いております。学

園の合言葉である「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」の精神のもと心身共に大きく成長し、豊かな人間性を育てていくことができるものと確信しております。ところで、「たいせつに」とはどういうことでしょうか。私は、「ありがとう」と思う心だと考えています。我々は今まで一人で大きくなったわけではありません。親や先生、仲間はもちろん、会うことのない人や多くの物に支えられながら生きています。そしてこれからもそうして生きて行きます。周囲の存在なしでは生きて行けないそのような自分自身のあり方に気付き感謝できる、そんな人間に親子共々成長したいと願わずにはいられません。

そして、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この間までランドセルを背負っていた皆さんですが、今日からは金光学園の一員となりました。これから始まる学園生活での先生方や友達との出会い、勉強や部活動などで経験したこと、体験したことはみなさんのこれからの素晴らしい財産となるはずです。これから築いていく人間関係は、大学・社会人になっても続いていくものですし、

何でも相談できる親友となるはず。この関係はきっとみなさんの将来を豊かにしてくれるはず。仲間と切磋琢磨しながら挑戦し、目標を実現して下さい。私たちはみなさんを信じ、見守っていき、支援も惜しまない覚悟です。



次に、保護者の皆さま、私も30年ほど前に、この学園で学び、バレーボールに情熱を燃やしていました。お蔭さまで現在もバレーボールの指導に関わらせていただいております。そこでいつも感じる点があります。それは、「保護者の仲が良いチームは強くなる」ということです。私たち保護者は子どもたちにとって最強の応援団です。応援団が一致団結していれば、子どもたちはキラキラ輝きながら学園生活を送れるはずです。保護者同士が協力しあいながら子どもたちの成長を支えていきたいと思えます。よろしくお願いたします。

さて、校長先生をはじめ諸先生方、そして地域の皆さまには、何に対しても敏感な年ごろの子供たちの教育はご苦労が絶えないことと思います。どうぞ温かい眼差しで見守って頂き、時には厳しくお導き下さいますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、金光学園のますますのご発展と、ここにお集まりの皆さまのご健勝をお祈りいたしまして、保護者代表の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

願いの言葉

高校新入生代表 竹本 華朋

春風に桜が舞い、春の訪れを感じるこの良き日、私達新入生194名と、留学生1名、合わせて195名は、晴れて金光学園高等学校の入学式を迎えられることに、心から感謝いたします。

私は3年前に、姉に勧められ今までは違う環境で学びたいと思い、金光学園中学校を受験しました。中学3年生の沖縄修学旅行では初めての民泊があったり、クラスの活動でも留学生の人達との交流など、貴重な体験をさせて頂きました。

更に、体育会やほつま祭などの行事を通して、仲間と協力することの大切さ、他人からの指示を待つのではなく自分で考えて行動することの大切さも学びました。最後まで諦めずに乗り切ることができたのも仲間が声をかけてくれたからです。

私達は今、大変恵まれた環境の中で生きています。ここで一日一日を無駄にせず、人として成長すると同時に、将来の夢を見つけ、「なりたい自分」に向かって日々精進していきたいと思えます。





最後になりましたが、本日は私達新生のためにこのような盛大な入学式を挙行していただき有難うございます。校長先生をはじめ諸先生方、そして両親にはこれからも厳しく、そして温かく、私達をご指導くださいますようお願い申し上げます、願いの言葉とさせていただきます。

我が子の成長を身近に感じておりますが、親である私は子どもと共に成長できている自信がありません。

我が子の成長には到底及びませんが、少しでも追いつけるよう何事にもチャレンジしていく気持ちを持ち続けたいと思っております。そう思わせて下さる金光様の教えは、私を導いて下さっています。

さて、新入生の皆様、歴史と伝統が受け継がれているこの金光学園は、文武両道を叶えることができる環境が整っています。高校3年間、可能性は無限大に広がっています。今、胸に抱いている夢と希望に近づけるよう、少しずつ歩みを進めてほしいと願っています。これから高校生活を進めていく中で、時に思い悩み、つまずき、立ち止まり、進むべき道を見失うことがあるかもしれません。その時には、あなたの周りに仲間がいます。先輩方がいます。親身になって相談のつて下さる先生方がいます。思いを打ち明けることで、一步を踏み出せる力、迷わず羽ばたける力になります。将来を見据えて、三年間で様々な経験を積み、選択肢を広げ、社会に貢献できる力を身につ

高1保護者代表挨拶

加賀 直美



新入生の保護者を代表致しまして、高いところからではございますが、ご挨拶をさせていただきます。

今年に入り、木々も凍えるような記録的な厳しい寒さが続きましたが、三月下旬頃から一気に春めき、待ちかねた春の花々が咲きほこるこの佳き日、本日は我が子たちの為に、このような盛大かつ厳粛な入学式を執り行つていただき大変感謝しております。

理事長先生、ご来賓の皆様におかれましては、ご多忙にもかかわらずご臨席賜り、誠にありがとうございます。また、先ほどは校長先生、理事長先生、ご来賓の方より温かいお言葉をいただき、気持ち

け、自分らしい道を切り拓いていって下さい。

目まぐるしい変化のこの時代において、柔軟に対応できるすべを養うと共に、決して自分を見失うことなく、それぞれの魅力にあふれた自分の色に輝き放つ人となりますよう日々自分の内面を磨いていって下さい。

校長先生はじめ諸先生方におかれましては、どうか親子共にご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、校長先生はじめ諸先生方、またこの式場におられる全ての皆様のご健勝をお祈りすると共に、金光学園のますますのご発展を心より願っております。

皆様のおかげで心に残る一日となりました。本日は誠にありがとうございます。



ちを新たに引き締めております。この度、縁あって我が子たちは金光学園高等学校へ入学させていただきました。節目節目の大切な行事の前後に生徒たちはお祝いとお礼をお届けする為に金光教本部参拝をしております。常に大きく包み込み見守って下さっている金光様のおかげをいただきながら、親子共に感謝の日々を過ごしていけたらと思っております。

今から8年前になりますが、長男がこの金光学園中学校へ入学させていただきました時、「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに」の合言葉に初めて触れさせていただきました。簡単な合言葉に感じますが、とても深く難しい、当たり前の日常を過ごしている中で忘れがちなとても大切な言葉であると常に胸にとどめております。

新入生の皆様、保護者の皆様もこの合言葉と共にかけてがえのない日常に感謝し、これからの日々を大切に過ごしていただけたらと思っております。また、金光様の教えである「ちちははも、こどもとともに、うまれたり、そだたねばならぬ、子もちははも」も8年前に教えていただきました。日々ひたむきに頑張る

道

(21)

金光 道晴

「あいよかけよ」と「和賀心」

金光学園は、言うまでもなく金光教が母体になってできた学校ですが、その金光教で大変大切にしている言葉の中に「あいよかけよ」や「和賀心」という言葉があります。いずれも教祖によって示された言葉ですが、国語辞典にも広辞苑にも漢和辞典にも出てこないものであります。つまり金光教独自の言葉なのですが、最も大切にしているもので、当然金光学園教育の中でも大切にしている言葉であります。今回はこの2つの言葉について書かせてもらいます。

まず「あいよかけよ」という言葉ですが、「相かかわりあって」の意味で、昔の備中地方で使われていた言葉といわれており、一説には昔、籠屋さんが籠をかく時のかけ声だったという説もあるようですが、本来2人の人が力を出し合っているように協力して仕事をするその働きを表わす言葉と言われています。金光教では神様と人間の関係を「神あつての人 人あつての神」「あいよかけよ」で立ちゆく」と申しますが、神と人との関係は親と子の関係によくたとえられます。親は子供がいなければ親とは言えず、子供は親があつての子供であり、親と子の関係は、「親あつての子 子あつての親」＝神と人の関係は「神あつての人 人あつての神」であり、まさに「あいよかけよ」で立ち行く関係なのであります。親の

の私学も、全面的にその神髄をあらわすことができるようになって、自分の歌心も自由になり……もとより十全なものではないが、やや満足なものができた……」と振り返っておられます。6代校長加賀道郎先生は在職中によくこの学園歌の3番の歌詞を引用され、「あいよかけよ」について「親あつての子 子あつての親」「先生あつての生徒 生徒あつての先生」「あなたあつての私 私あつてのあなた」というお話をされていたのを思い出します。

次に「和賀心（わがこころ）」についてであります。この言葉も広辞苑にも漢和辞典にも載っていない教祖が使われた造語であります。生徒が金光教本部に参拝した時に唱えたり、入学式や卒業式などの式典の時に段上に掲げられたりしている「天地書附」には、「おかげは『和賀心』にあり」という言葉があり、耳で聞けば「わがこころ」は「我が心」＝自分の心という意味に聞こえます。もちろん私の心という意味はあるのですが、漢字で書けば「和賀心」の「和」は平和の和で「和らぐ心」「賀」は祝賀の賀で「喜ぶ心」であります。人は和らぎ喜ぶ心の他にも、心配したり、悲しんだり、怒ったり、憎んだり、悔んだりする様々な心を持っています。しかし、そのような心の中には良さものは生まれてこないであります。和らぎ喜ぶ和賀心の中にこそ良きことが生まれ、次の生きいきした働きに繋がっていくのであります。しかし寒際にはなかなかそうはいきません。私たちの日々の生活の中では、思うように行かないことの方がはるかに多く、その中で常に心配、悲しみ、憤り、憎しみ、後悔、嘆きなどのマイナスの心が生まれ、そのことによって人間関係を壊してしまったり、自分で自分自身を苦しめてしまつた

最大の喜びは、子供の幸福、子供の立ち行き、子供の助かりであることは親になったものなら誰でもわかることではありますが、同様に神にとつての喜びは人間の幸福、立ち行き、助かりであるということでもあります。つまり神と人が共に立ち行き、助かる事＝親と子が共に助かり・立ち行くことと同じということになるわけであります。しかし、子供（人間）はそんな親（神）の願いに気が付かないことが多いのであります。「親の心子知らず 神の心人知らず」なのであります。だからこそ「親と子（神と人）」「あいよかけよ」で共に助かり立ち行くことが大切なのであります。この「あいよかけよ」の関係は友人同士、先輩と後輩、先生と生徒、チームメイト、同僚、夫婦、家族など全ての人間関係においても言えることですが、人間関係にとどまらず、自然と人の関係においても大切なことだと思っております。

ところで、学園歌の3番は「あいよかけよ」の道立ちて♪ 平和は人の世にあらん♪……」の歌詞ではじまります。学園の校歌である学園歌は、創立当初に出来たものではなく、戦後（1950年）になってやっと作られたものですが、作詞にあたられた2代校長の佐藤金造先生は学園歌のつくられた経緯を「……在職中に何度か試みてみたが、どうも満足なものが出来なかった。それというのも校歌である以上その学園の精神がこもらねばならぬが、戦前は政府の宗教に対する制約から金光教祖の神髄をそのままあらわすことができず、また学校においても法規上十分に金光教の精神を打ち出し得なかつたので、自然自分の歌心に澄み切らぬところがあつたためと思う。ところが、終戦後信教の自由が確立し、宗教立

りすることが度々あります。いつも和らぎ喜ぶ心を持つことは容易ではありませんが、少なくとも受け止め方や気持ちを変えたり、心を改めたり、思い返しをしたりすることは大切なことだと思っております。

昨年、本校のやつなみ保護者会のサークル活動の中に、「茶話会 和賀心」という名前のサークルができました。その入会案内文に次のような言葉が書いてあります。「金光教にはおかげは『和賀心』にあり」という言葉があります。『幸せは和らぎ喜ぶ心にある』という意味です。いつでもどこでも和賀心でいられたら最高ですが、ついイライラしたり、悩んだり、不安に押しつぶされそうになったり……。もやもやした思いは、一人で抱え込むより、みんなと分かち合つた方が、和賀心に一步でも近づけるかもしれない。和賀心になれている時は、みんなと分かち合えばさらに大きく膨らむはず。お互い和賀心を育てあうことを願ひとして、『茶話会・和賀心』は誕生しました。親である私達の和賀心が大きく育てば、家庭にも和賀心が広がり、それはきっと子供達の心を豊かに育んでくれるはず。そして、子供達も学校で、やがては社会で和賀心を輝かせ、幸せを生み出す存在となつてくれるでしょう。……」とあります。

私どもの日々の生活の中には、様々な困難なことが起こってきますが、そのようなときだからこそ、「あいよかけよ」「和賀心」を大切にできる生き方を求め続けて、共に立ち行き次の生きいきした働きに繋がってまいりたいと思う今日この頃であります。

ここから通っています 学園生の故郷

金光町大谷地区

金光町大谷地区には、金光学園の母体である金光教の本部があります。
境内入り口の正門（大正13年完成）は直径45センチの丸柱8本と銅板ぶきの屋根、壮麗な彫刻が目を引きます。

本部広前会堂（昭和48年竣工）は年中24時間開いており、どなたでも自由に参拝できます。28畳敷きで1500人が座れます。金光様は毎日午前3時40分から午後4時40分まで本部広前で奉仕され、向かって右側のお結界では、どなたでも金光様のお取次ぎをいただくことができます（結果取次ぎは午後3時20分まで）。地下は湯茶設備のある休憩所となっています。

本部広前祭場（昭和34年竣工）は間口50メートル、奥行100メートル、建築当初の収容人数は約1万人。場内に柱が1本もない建物としては東洋一の大きさと言われています。春秋の大祭をはじめ、金光ミュー

ジックフェスタなど様々な催物が行われています。平成26年には、金光学園創立120年を記念して、太鼓芸能集団「鼓童」の無料コンサートがここで開かれました。
境内を北に進むと修徳殿（大正15年竣工）があります。金光教の信奉者の研修や、子供の成長を神に感謝し学業成就を願う「勸学祭」などが行われます。

さらに北に進むと、教祖時代（明治20年頃）に掘られた井戸があり、この水は「御神水」と呼ばれています。どなたでも自由に汲むことができます。

その奥には、金光教祖の住宅の復元模型である立教聖場があります。教祖が46歳の時に神の頼みを受けて農業をやめ、70歳で亡くなるまで取次ぎに専念した広前の様子や、夜昼なく誰でも参拝できるように入り口の敷居をつぶしている様子などを伺うことができます。

境内東の木綿崎山には、教祖や歴代教主の奥城（墓地）、金光学園初代校長・佐藤範雄師の頌徳碑などがあります。

境内を下りると、古き良き日本の面影を残す門前町が広がっています。

金光教徒社は、大正・昭和初期に建てられた3つの建物からなり、国登録有形文化財に指定されています。金光教の本や新聞、

広島県三原市

広島県三原市は、平成17年に三原市、隣の本郷町、久井町、大和町が合併してできた新しい町です。人口は10万人弱、世帯数が38万世帯、広島県の中央東部に位置し、また中国、四国地方のほぼ中心にあり、各地域と連携する上で恵まれた地理的条件を有しています。島あり、街あり、高原あり、様々なライフスタイルに応じられる欲張りな三原市は戦国武将 小早川隆景が築城した「浮城」三原城をはじめ、古利などが数多くあり、歴史を感じる町でもあります。

交通面では、広島空港、新幹線三原駅、呉線の先頭駅、三原港などが揃い、東京や大阪へ片道2時間で行くことができ、瀬戸内海の島暮らしでもフェリーで30分と交通の便のよさは自慢の一つと思います。そのせいか多くの移住者がミハラビトとながり、三原暮らしを満喫されています。

三原市には夏には「ヤッサ祭り」、冬には「神明市」と全国区のイベントがございます。

「ヤッサ祭り」は8月のお盆迎りに3日間、中国地方を代表する夏祭りとして40万人の人出で賑わいます。小早川隆景が水軍

統一のため三原湾に海城を築いた事を祝って始まったといわれる「ヤッサ祭り」は昭和51年から始まり、今年で42回目を迎え、フィナーレを飾る花火は約5000発が三原の夜空に打ち上げられます。

いっぽう、「神明市」は2月上旬の3日間、三原城跡近くの東町、館町一带の50軒を超える露店が軒を連ね、30万人の人で賑わいます。「神明市」とは伊勢神宮を祀る祭りの事だそう。とんどをまき、神棚を飾りあちらこちらの店先にだるまを飾りつけました。そのだるまも今は「神明市」のシンボルになり現在4代目となるだるまは高さ4メートル、胴回り3メートル、重さ500キロと日本一のだるまとなり、この3日間のみお披露目されています。

その他には、「三原のたこ」は瀬戸内海でも有数のマダコの産地としても知られるようです。またその瀬戸内海を一望できる「筆掛山」や寺院でもあり県内屈指の紅葉の名所でもある「仏通寺」など数多くの観光地があります。

私はこの三原で生まれ今日まで住んでいます。ただこの三原市、全国的にはそれほど有名ではないと個人的には考えてます。隣の尾道のほうが知名度は高いですね。しかし災害、天害の全くない三原なん



です。大雪や大雨も少なく、気温も全国的にみても平均的などころではないでしょうか？ ごく平均的な街、大変住みやすい街こんな三原市のご紹介でした。

中1の父 鶴本 孝之



CD、DVD等を販売しています。この建物は、金光学園記念講堂（国登録有形文化財）を手掛けた江川三郎八によるもので、同じく江川の手による貴重な建築物が門前町に散在しています。
金光図書館（昭和18年創立）は25万冊を超える蔵書を誇ります。
その他、明治時代から続く造り酒屋や和菓子屋などもあります。
金光学園に来られる時には、線路の向こう側の大谷までちよつと足を延ばされてはいかがでしょう？

中2 高3の母 金光 紀子

叶った全国制覇

岡山大学法学部4回生 羽仁 豊 (高67回)



平成27年3月に金光学園高等学校を卒業して早3年。まさか私が卒業生としてこうしてやつなみに寄稿させていただくことになるとは夢にも思っていませんでした。この度、第74回学生名人戦にて優勝し、大学将棋界の頂点ともいえる学生名人になることができました。実はこの大会で去年は準優勝という結果で、今年雪辱を晴らすこと

ができるとは思っておらず私自身驚きのほうが大きいです。ただ、このように様々な人からの声掛けによってようやく優勝の実感を得ています。

昨年においては史上最年少棋士でスピード昇段を繰り返している藤井聡太七段をはじめ、永世七冠を獲得された羽生善治竜王、そして岡山出身で平成生まれ初のタイトルホルダーである菅井竜也王位が誕生するなど、将棋界において明るい話題に尽きませんでした。また、「ひふみん」の愛称で知られる加藤一二三先生のバラエティ番組の出演などもあり、将棋を知らない方にも興味を持ってもらえる環境になってきているとも感じています。

さて、将棋は相手の駒を取ることができ、持ち駒として再使用できるという性質上、一つの局面からの可能性が天文学的数字になるようなとても奥深いゲームです。その将棋において私が特に魅力に感じるのは

「盤上において自分の意思や個性を自由に表現できる」という点です。例えば、序盤の初期配置は全員全く同じなのに、攻めが好きな人はその気持ちに基づいて序盤から駒がひたすら前に進んでいき、逆に堅い守りを得意とする人は駒をじっと玉の周りに集結させる指し回しを見せます。また、同じ局面を見るにしても人によって全く捉え方が違ったりもして、そういった十人十色の個性を小さな81マスの中で垣間見ることができるとても面白いと常々感じています。また、トップ棋士の先生が「棋士には勝負師、研究者、芸術家の三つの面がある」ということを本でおっしゃっていた記憶がありますが、そういった人の奥深くに根付いた人格や適性のようなものが個性を出すのに作用しているのかと考えたりもします。

ところで私自身が将棋を始めたきっかけは小学5年生の頃、母に勧められてネット将棋をしたことです。その当時も将棋を楽しいと感じましたが、しかし受験勉強が忙しくあまり将棋に熱中することはできずじまいました。将棋へ本格的に取り組み始めたのは中学2年の頃で、家の近くの将棋クラブに通い始め、また、よりレベルの高い対局ができるネットサイトを使い始めたこと

がきっかけでした。また中学3年生で人生初の大会に出場しましたがボロ負けし敗退。そこから更に練習を重ねて、高校1年で初の高校の県大会で優勝、その翌年も優勝、そして夏の全国大会でベスト4にまで行くことができました。この中高6年間の将棋にまつわる思い出は今もふと思い出し懐かしむこともあります。

こうして将棋そのものについて、そして私の中学高校のことについて振り返るとなんだか不思議な気持ちを感じずにはいられません。というのも実は私が金光学園に入学したのは囲碁将棋部があったというのが理由の一つでもあったからです。もし将棋を始めなければ学園に入ることはなかったでしょうし、もし学園で将棋をしていなければここまで将棋を続けていたか怪しいと思います。そういった「縁」が繋がっており、今回のこの全国制覇という結果を残せたのだと思うと私にとって学園の存在は大きなものであったと改めて感じます。今後自分の力のみで結果を残したと慢心することなく、お世話になった人や運にも感謝し精進していこうと思います。



将棋学生名人戦 県内初

羽仁さん(岡山) V

岡山大学将棋部に所属する法学部4年羽仁豊さんが、学園のアマチュア学生による個人タイトル戦「学生名人戦」(6月26、27日、東京)で優勝した。主催する日本将棋連盟によると、県内の学生が同タイトルを獲得するのは初。昨年の決勝敗れており、教訓を生かして雪辱を果たした。(小山耕平)

名人戦は1957年に1・5倍になった決勝始まり、学生将棋並に時間配に苦戦した昨アマチュア学生個人一年の反省を踏まえ、勝ち大タイトル(二つ)。今大会で自分のペースを保つは全国8ブロックの予選。守りを固めながら運を勝ち抜いた大学は、飛車を積極的に動かす得点人が参加。羽仁さんは意の「振り飛車穴熊戦」中国代表(5人)の一法で栄冠をつかんだ。

入社して年連続で出場「気負わず自分の持ち味を出そう」との気持ちで臨んだのが良かった。勝負の相手は昨年決まらなかったという振り返りの相手と顔を合わせる。小学5年からインター利5人目の対局で、ネット将棋を始め、中学校時間が90分をそれまで、高校で将棋部に所属、中

略歴	H24年3月	金光学園中学校卒業
	H24年4月	金光学園高等学校入学
	H27年4月	岡山大学法学部法学科入学
	H29年3月	第20回学生将棋選手権 準優勝
	同年5月	第73回学生名人戦 準優勝
	H30年5月	第74回学生名人戦 優勝

来月プロ公式戦出場

持ち味出し雪辱

7月は学生アマチュア代表として、藤井聡太七段が昨年優勝したプロ公式戦「明日杯将棋オープン戦」に出場する。「少しでもプロの差を体験できれば」と心待ちし、IT企業へ就職予定の卒業後についても、楽しみながら将棋を続け、20代ならではのアマチュアや竜王のタイトルを狙いたい」と意欲を見せている。

やつなみ保護者会のページ

今回は、教養部・指導部・庶務部の代表の方に、それぞれの部の活動内容を紹介していただきました。

指導部

部長 池田 真紀子

指導部は、本年度も、メンバー8名と、本部役員の方2名で活動を行います。主な活動は、1つめは、教育講演への参加。当部より2名参加します。2つめは、地区会の開催をすすめること。地区会の開催は7月中旬に設定し、地区の評議員中心で会を進めていきます。各地区で、担当の中、高の先生と、全学年の保護者が集まるチャンスです。ぜひ参加していただき、情報共有の場、出合いの場としていただきたいと思えます。3つめ、担当の先生とメンバー1人で下校時間の列車指導。金光駅周辺へ出掛け、安全にルールを守り下校出来ているか見守り、補導、

指導を行います。

私自身、メンバーの方のご縁をいただき、2度目の指導部で部長をさせていただくことになりました。出合いに感謝し、皆さんの力をお借りしながら、1年間活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

教養部

部長 中川 由美

「では、御希望の部に移動して下さい」今年度教養部はその言葉に引き寄せられた7人で息の合ったスタートを切りました。

主な活動内容は、(年3回発行される「やつなみ」の保護者ページの作成)(各

研修会への参加)(秋に行なわれる保護者対象の研修旅行の企画)です。

「やつなみ」では、各行事について保護者の目線から見える、感じる学園や子ども達についてなどをお聞かせ頂きたく、原稿依頼をすることがあります。その時はどうぞよろしくお願い致します。各研修会は、学園を通して参加依頼があり、学園外の様子や教育内容を伺ってきます。

研修旅行については現在企画立案中です。(忙しく)時間に追われる日々の中で、この旅行に参加下さった方々が「リフレッシュできたあ」と楽しめるプランを考えています。

初対面の時からワイワイと意見を出し合い、耳と心を傾けて一つのことを作り上げていく楽しさと、皆様へそれらをお届けする責任を部員一同感じています。任期を終える時に「楽しかった」と思える活動になるよう励んでまいります。1年間どうぞよろしくお願い致します。

庶務部

部長 称屋 緑

今年度の庶務部は27名で構成されています。主な活動内容はほつま祭での友愛セールの開催と、それに向けての準備です。

友愛セールでは、ご家庭や協賛企業様からの寄付品によるバザーや、手作り品の販売、チャリティー販売、物品の予約販売など、様々な商品をご用意して、皆様のお越しをお待ちしております。今年度は例年よりも予約販売の種類も増え、毎年好評のマスキングテープのデザインを美術部の生徒達が担当するなど、新たなワクワクをお届けできればと考えております。

また、手作り品については、庶務部が中心となって、「楽しい手作り会」を開催し、大人気の金光ベアをはじめ、布小物(バッグ・マカロンキーホルダー・ブックカバー等)などを制作して、販売します。手作り会については、皆様お忙しい中、少しでもご協力くださる方が多く、大変助かっております。そして、この手作り会を通して、子ども達の学年に関わら

金光ベアを寄贈しました

中高の制服で作られる、毎年、ほつま祭の友愛セールで大人気の金光ベア。学園の制服をお願いしている株式会社トンボ(トンボ学生服)に2体を寄贈しました。社内でも好評を博しているそうです。



ず、保護者間での交流ができる事も大変嬉しいことです。ほつま祭前日・当日は、庶務部総出で準備を行います。充実した楽しい友愛セー

ルになるよう、庶務部一丸となって頑張っておりますので、今年度も皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

金光学園やつなみ保護者会 会長就任挨拶



金光学園やつなみ保護者会
会長 横藤田 晋

平成30年度金光学園やつなみ保護者会 会長を務めさせていただきます横藤田と申します。保護者の皆様には、平素より本保護者会活動に、多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私と本校とのご縁は、平成20年に次男が本中学に入学して以来の10年前の事です。入学式で聞いた当時100人を超える団員を擁した吹奏楽団の音の凄さに圧倒された事をよく覚えています。次男はその吹奏楽団に入部し、その姿に大きな影響を受けた長女も、本校を志願し吹奏楽団に入部しました。その娘もはや高3となり、この春、親子共々感涙した最後の定演を終え、部活から受験にソフトチェンジの最中です。次男、長女の成長と共に本校の各行事にも参加させて頂きました。中でも秋のほつま祭は、圧巻です。どのクラス展示を拝見しても、よくぞここまで子供達は調べ、纏め上げたものだと感心し、バザー会場には手作り作品や各家庭からの拠出品で物も人も溢れます。そして最後は体育館ステージ。音楽部、ダンス部等の見事なステージの後、トリのKOPでは、若い先生方も一緒にモモクロやAKBの歌や踊りで盛り上がり大爆笑です。40年前の公立校出身の私には、想像がつかない先生と生徒の距離感です。私も一昨年より副会長を務めさせて頂き、先生方とお話しする機会

も増えました。その中で本校の先生方の生徒に対する温かさを強く感じます。また、私の友人に本校の卒業生が多くいますが、いずれも「学園卒」と言う強い絆があり、羨む程の仲の良さです。「人を大切に……」の合言葉の下、本校の120年来脈々と流れる古き良き校風に感嘆致します。しかし、時代は移り変わり、中学生が当たり前にスマホを持ち、教育のICT化が求められる中、子ども達の人間関係も複雑化しています。私達が過ごした中高時代の経験と価値観は、過去のものとなり子供とのコミュニケーションに齟齬が生じる可能性もある程です。社会環境も変化し、多くのお母様が仕事を持たれている中で、保護者会活動は、難しい場面もある事でしょう。しかし、学校は先生から教えを友と共に得る場であり、親は子を育てるといふ真理は変わりません。この良き伝統と校風を大切に、皆様のご意見に耳を傾け、共に参加しやすい保護者会活動を目指して参りたいと思います。この1年間精一杯尽力致す所存です。皆様方の一層のご指導、ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

「友愛セール」ご協力をお願い!

9月9日(日)開催

拝啓 梅雨空の合間から時折射す眩しい陽が、本格的な夏の到来を知らせています。本誌が届く頃には期末試験も終わり、そして子ども達には楽しみな夏休みへと続きます。保護者の皆様におかれましては、平素よりやつなみ保護者会へのご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、今年もほつま祭2日目の9月9日 日曜日 当保護者会主催の友愛セールを、開催いたします。本年も「金光ペア」をはじめ多くの保護者の皆様のお心こもった手作り作品が多数出品されます。また各ご家庭から提供頂いた貴重な品々、そして同窓生の企業様、近隣の企業様からもご協賛頂いた品々を販売させて頂きます。今年の予約販売では、特に地場企業の新たな選りすぐりの人気商品を集め、お値打ち価格でご提供致します。昨年も大人気のオリジナルマスキングテープは、今年は本校の生徒達がデザインしてくれました。近日学校より配布されますチラシにより、多くのご購入を頂ければ幸いです。

この「友愛セール」で得られました収益金は、学内設備の充実に充てられます。日々ご多用の折、友愛セールに向けての手作り会等で、幾度も学校に足を運んで頂くのは何分にも心苦しく思いますが、保護者同士一つの目的に向かい、同じ時間を共有して頂く事で、保護者間の絆も更に強く醸成されるものと思います。

是非とも友愛セールの趣旨と意義をご理解頂き、保護者の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

敬 具

金光学園やつなみ保護者会 会長 横藤田 晋

活躍おめでとう

第21回全国高等学校少林寺拳法選抜大会

顧問 安田 智幸

平成30年3月24～26日、香川県坂出市において開催された全国選抜大会に、高3佐藤謙成が「男子自由単独演武の部」に、高2塚本陽依吏が「女子規定単独演武の部」に出場した。佐藤は予選コートで8位、塚本は予選コートで5位だった。各コート上位4位までが決勝進出なので、残念ながら決勝進出にはならなかった。

高3 佐藤 謙成

僕は、3月24日から3月26日に香川県で行われた全国高等学校少林寺拳法大会に出場しました。高1の時に団体演武のメンバーとして出場したことはありませんが、単独演武の部で自分の力で全国大会に行くのは初めてであり、本番当日まで緊張の日々が続きました。僕が全国大会に出場することができたのは、忙しい中練習を熱心に教えてくれる先生方や、

自分の見えないところで支えてくれた家族のおかげだと強く思います。そして、初めての全国大会で、緊張と焦りが出てしまい良い結果は出ず悔しい思いをしました。この悔しさをバネに高3最後となるインターハイで有終の美を飾れるように日々練習していきたいと思っています。

高2 塚本 陽依吏

私は3月24日～26日の3日間香川県坂出市で行われた全国高等学校少林寺拳法選抜大会に出場しました。初めての大会であったため緊張と不安でいっぱいでしたが場の雰囲気にもまれないよう、自己の練習に励みました。予選ではあと2点のところでも勝に進めずとも悔しい思いもしましたが、新



たに自分に足りなかった点や課題が見つかったので自分にとっては大きな糧となる大会になりました。そして大会まで私の演武を見てくださった先生方、応援してくれた家族や部員、すべての方に感謝することができました。今回の大会のテーマである質実剛健のごとく日々の練習に励み、技を自分のものにしていくようにさらに精進していきたいです。

全国高等学校選抜卓球大会に出場して

高3 升本 和真

3月25日から28日まで、福井県で開催された全国高等学校選抜卓球大会に出場しました。自分にとって初めての全国大会であり、目標としてきた大会でもありました。

実力校の選手が揃う中、迎えた予選リーグは会場の雰囲気にもまれないように集中してのぞみました。決勝トーナメントへの進出を目指していましたが、続けて2試合を落とし、結果、敗退となりました。

最後まで勢いのにれず、試合の流れを自分に引き寄せることができないまま終わってしまい、大きな舞台で自分らしく

戦うことの難しさを改めて感じました。

欲しかった全国での1勝は逃してしまいました。それでも今回この舞台上に立てたことは本当に嬉しかったし、これまでも自分を応援して下さった方々へ少しは喜んでもらえたかなと思えました。逃した1勝は次の目標にしたいと思います。



トランポリン競技大会で優勝

6月17日(日)

に行われた、第16回中国地区トランポリンシャトル競技大会に中2守分梨子さんが出場し、個



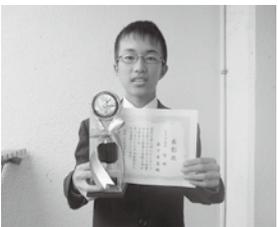
人の部・団体の部で優勝した。昨年に引き続き、個人の部は2連覇という、すばらしい結果となった。

ペタンクジャパンオープン

トリプルス部の 優勝

5月3～5日に、くらしき山陽ハイッツで行われた「ペタンクジャパンオープン」トリプルス部の部に、中2木下幸喜くんが参加し、全2部門356チームの頂点に立った。木下くんは地元のペタンククラブに所属し、練習に励んできた。予選は、緊張から3人の息が合わず苦戦したが、徐々に息が合い始め突破した。決勝トーナメントでは3人で力を合わせ、接戦をものにしたが優勝を手にした。

木下くんは、11月にオーストラリアで開かれるバンパシフィック選手権の出場権を獲得し、出場する。「世界でも上位に入りたい」とさらに練習に熱が入っている。

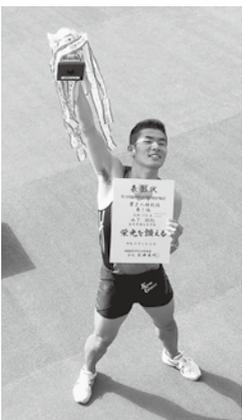


3人がインターハイ出場！

陸上競技部

6月15日(金)～17日(日)の3日間、第71回中国高等学校陸上競技対校選手権大会が山口県維新みらいふスタジアムで行われた。

高3山下朋紀くんが8種競技と110mハードルで優勝。8種競技では中国高等学校新記録での優勝だった。高3眞田明日香さんが砲丸投で2位。高2土屋健太郎くんがやり投で2位となり、7月に三重県で行われる第71回全国高等学校陸上競技対校選手権大会に参加する。





メタセコイヤ

Intel ISEF (国際科学技術フェア) 2018に出場

「ISEF」は「International Science and Engineering Fair」の略で、日本語では「国際学生科学技術フェア」と呼ばれています。半世紀以上も続いているアメリカの伝統ある大会で、世界75以上の国と地域から選ばれた1700人を超える高校生が自分たちの研究を披露しあう科学研究コンテストです。いわば若者による「科学のオリンピック」です。

高3 上川 滉太

私は、5月にアメリカのペンシルベニア州ピッツバーグで行われたIntel ISEF 2018に日本代表として出場しました。慣れない英語での論文やポスター作成

に追われた。四半準備期間は、大変でしたが非常に充実した日々を過ごしました。アメリカに向け出発する時は、緊張はほとんどなく期待感でいっぱいでした。受験英語が中心の私にとって英語での発表や質疑応答は不安でしたが、英語の上手さではなく研究を伝えようとする姿勢を心がけると、自然と言いたいことを伝えることができ、緊張することなく楽しんで審査を終えました。

表彰式で「From Asakuchi city, Japan, Kota Uekawa」というアウンスが会場



に響き渡った瞬間は、今までにない程の鳥肌が立つと同時に喜びを噛み締め、今までやってきて本当によかったと心から思いました。ステージの上からの景色は特別で、決して忘れることがないと思います。

Grand Award 4等というこの賞は、指導して下さった先生方のお力添えがあったからこそその受賞であり、感謝してもしきれないほどお世話になりました。また、応援し支えて下さった家族や友達

の皆さん、本当にありがとうございます。支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、この経験を生かして今後も挑戦を続けていこうと思います。この度は本当にありがとうございました。



探究 授業報告

中3探究

○パターンブロック

いろいろなパターンに組まれたブロックを、チームメイトに文章で伝え、それをもとにブロックを組み立てていく内容で行い、読解力、表現力、チームワークの育成を目的にグループで点数を競いました。目に見えている事柄を文章にし、ほかの人に伝える難しさを感じていました。

○ストロー斜塔

ストロー40本を使い斜塔を組み立て、最高100gまでのおもりに耐えられるかを競いました。チームで話し合い、柔軟な発想力で様々な斜塔を作製し、コンセプトを発表し合いました。

○探究講演会

K.I.T虎ノ門大学院の三谷宏治先生をお招きして、「決める力と伝える力の鍛え方」を教わりました。グループ単位

での話し合いをする場合において、何を取捨選択するのか、どのように優先順位を決めるのかという考え方を学ぶことができました。

高1探究

○プレゼミ活動

グループディスカッション(6時間)

ディスカッションの概要を講義方式で学習したあと、グループに分かれて様々なテーマ(オーブンスクールで発表する金光学園の魅力、「グローバルな人材を育成するために必要な日本の教育改革」でディスカッションし、その内容を全体で発表しました。どのグループも意欲的に取り組んでいました。

・探究生物(2時間)

運動学習の定着に関する実験を行い、研究を深めるために必要な条件は何かを考えました。脳の各部分の働きを学び、ニワトリの頭部を解剖し、実際の脳の各領域を観察しました。

高2探究

○探究Ⅱ

文系は人文学ゼミ、教育ゼミ、グロー

バルゼミ、理系は数学ゼミ、物理ゼミ、化学ゼミ、生物ゼミ、天文ゼミに分かれて、文献検索、調査、実験を進めました。ゼミによって専門家を求めて県立図書館に出張したりしました。
2学期からはポスターやパワーポイントで研究をまとめ、10月の校内発表会にむけて準備をし、後半は研究論文にまとめていきます。





イギリス 短期語学研修

中学3年生と高校1年生の生徒16人と引率教員(岡田伸彦)が16日間のイギリス短期語学研修に参加しました。生徒はロンドン近郊のブロックスボーンでホームステイをして、英語の授業や現地の学校訪問、ロンドン観光やケンブリッジ(大学)訪問を行いました。多彩なプログラムを満喫するとともに英語でのコミュニケーション能力もしっかりと向上させることができたのではないのでしょうか。イギリスの異文化を肌で堪能しました。



全てが新しい「イギリス研修」

高1 唐木 歩夢

皆さんは「イッテQ」という番組の「出川哲朗のはじめてのおつかい」というコーナーを知っているだろうか？ 見たことがある人もいると思う。見てみるとそのコーナーの中では出川哲朗が片言の英語で話すというシーンが度々見られる。基本的にそこでは皆笑うと思う。現に自分もそうだった

たから。「自分ならもっと上手く話しかけられる」とか「ちゃんとした単語が言える」など考えるからだろう。でも実際は違った。外国人と顔を合わせ話し、そして家族の一員として2週間滞在するとなると授業で習ったような文は作れず単語をくっつけて話すしかなくなる。「それだと通じんじやろ」と思うかもしれない。でもそれは違う。真剣にはっきりと話せば通じるのだ。大切

になっているだけあって日本人形やフランス人形など様々な物が置いてあった。僕の鉄びんと羽がまの置き物も置いてもらった。ホストファミリーはゆっくり話してくれているのだが、やっぱり聞き取ってすぐに話すのはとても難しかった。

そしてロンドン観光である。色々な観光地を回って思い出を作ろうと考えていたが行きは渋滞で着いたのは11時30分ぐらい。午後は大英博物館に行くのが決まっていたので午前中はお土産を買うことしかできなかった。大英博物館では「ロゼッタストーン」や「エジプトのミイラ」などが見られ



て本当に良かった。ただもつとロンドンを見て回ったかったと少し悔いが残った。最後の終日観光であるケンブリッジ観光。大学はとも広く「これ大学か!？」というほどの広さで驚いた。そして3時間の自由時間である。クッキーやストラップ、カバン、機内用のマクラなど様々な物を買うことができて本当に楽しかった。次に2週間にも及ぶホームステイ!! 朝はブレイクとトースト、晩飯は毎日とても豪華で食べ飽きなかった。毎日疲れて9時には2人とも寝ていた。会話はあまり正しくはできていない時もあつたけど、1週間ほどで8割聞き取れるくらいまでになっていた。帰るときに部屋に手紙と写真と1ポンドを置いて帰った。

怖さと嬉しさ

高1 山本 楓夏

私は春休みに行なわれたイギリス短期語学研修に参加した。この研修には前から興味を持っていて、実際にネイティブの英



なのは真剣に伝えようとする。これが僕がこの研修で学んだみんなに伝えたいことだ。

僕は3月18日〜4月2日の2週間学校のイギリス研修に参加した。きっかけは親にすすめられたからである。最初は本当に不安だった。原因としては2週間家を出ること。ホームステイすること。英語漬けということなどが挙げられる。事前学習や説明会などしても不安な気持ちはずっとあった。そんな中僕はイギリスに旅立った。

初日、ホストファミリーと会い、いざ家へ。僕の部屋は2階でホストファミリーは、父、母、小犬の2人と1匹だった。リビングには色々な国の学生のホストファミリー

語に触れ、自分の英語力を上げるために参加させてもらった。終わった今、この研修を振り返ると、楽しかったという一言で表せる。もちろん困ったことやうまくいかなかった事もたくさんある。けれどそれらの体験をすべて含めて私は良い経験になったと思う。

私は小さい頃から英会話を習っていて、英語を話す・聞くという学習には力をいれている方だと思っている。だから正直なところイギリスに行ってもあまり困ることはないだろうという自信があった。けれど実際のところ、海外で英語でコミュニケーションをとることはそんなにも簡単なこと





学園の新しい海外研修プログラムという事で、事前学習もしっかり行いました。ニュージーランドについて調べたのはもちろん、24名を大きく2グループに分けて、日本文化の紹介プレゼンを作成したり、日本の遊びを紹介したり、一緒に楽しむための企画も練りました。そしていよいよ出発！ワイヌイオマタ校は中高一貫校です。学年配当が日本



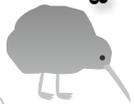
授業は数学、作文、マオリ文化を学ぶ、家庭科(調理や裁縫)など、活動的な授業内容も多く、最初は英語にとまどった生徒たちも、すぐに慣れることができました。

さらに日本と違ったのは、モーニングティータイトムと、ランチタイムという2回の大きな休み時間があることでした。この休み時間、とにかく現地の生徒たちは外に出てバスケットボールをしたり、おしゃべりしたりと活動的。この休み時間を一度経験しただけで、学園生との距離も一気に縮まったようです。学園生も

ニュージーランド現地校交流プログラム

金光学園中学・高等学校 New Zealand Homestay Program 2018
with Wainuiomata Intermediate School

2018年3月18日～4月2日



ではなかった。日本人と英語で会話するのはスピードや発音も全然違うし、それに加え緊張を感じる量が違いすぎる。聞き取れない英語と伝わらない英語で英語という存在自体が怖くなり、嫌になってきた。けれど、その中にある嬉しさは思っていたよりだし、伝わった時の嬉しさは返すうちにあんなに怖かった英語が楽しさに変わり、自分の知っている単語を使いたくなってくる。これが海外という日本ではない場所での英語を話す魅力だと私は思う。日本にいるだけだったら絶対にこんな経験はできない。実際私も、この研修で前に言ったことをそのまま経験してきた。間違いを恐れ、翻訳機



能にたよったり、自分の気持ちを抑え言わなかったりしたこともあった。しかし、そんな困難を自分で乗り越える努力をしたからこそその良い経験となったこのイギリス研修。今できることは全てやったつもりだし、やり残したことは一つもない。

このイギリス研修で学んだのは英語力だけではない。何を学んだのか言葉で表すのは難しいし、今の私自身、まだ気づいていない学んだこともあるのだと思う。けれど、これから私が生きていくなかで学んだことに気づく日が必ず来ると思う。このイギリス研修は私にとって今の自分にもこれからの自分にも影響をあたえてくれた研修となった。



と異なり、中学生は11才～14才ぐらいの生徒でした。様々な国の人達が暮らす移民の国、ニュージーランド。とても積極的に私達にも興味津々な態度で接してくれます。最初は緊張していた学園生も、1週間も経てば生活のリズムにも慣れ、本当に楽しく生き生きと過ごすことができていました。

体操服に着替え、スポーツやアスレチックで体を動かしながら多くの生徒と交流しました。

高校生との交流も行いました。日本語を勉強している生徒達なので、積極的に話しかけてくれます。こちらも書道や折り紙といった日本文化を教えるなど、たった2日間の高校生との交流でしたが思い出深い交流ができました。



土日は学校がお休みなので、観光も楽しみました。博物館や動物園に行ったり、ケープルカーに乗ったり、街に出て自分達だけで買い物してみたりと、海外生活を満喫できました。

ワイナイオマタ校の生徒たちとのお別

ニュージーランドで感じたこと

高1 梶谷 悠

ファミリーは優しく親切な人達で、2人の小さなシスターもできた。ファミリーは私がなかなか英語を理解できなかった時は、できるだけ分かりやすく伝えようとしてくれて、本当にありがたかった。また、私の拙い英語をうなずきながら聞いてくれて、私に「下手でも一生懸命伝えてみよう」という勇気を与えてくれた。そして会話ができた時は、とても嬉しかった。初めは不安と緊張で押しつぶされそうだったが、温かく受け入れてくれたファミリーのおかげですぐになじむことができた。

はじめての海外研修

高2 江原 雛子

最初は（英語を）頑張っただけで聞こうとしても全然聞き取れませんでした。こんなにも分からないものなのかという驚きと同時に、私は不安にもなりました。ただ、日を追うごとに聞き取れるようになっていき、「それからは不安が「どんどん分かる！」という自信になっていきました。

聞き取れるようになってからは、「話



グラムに参加する！」と宣言した生徒や、お世話になったファミリーにまた会いに行く約束をした生徒もいました。慣れない海外生活にとまどう場面もありましたが、2週間の中でそれらを乗り越え、たくましく楽しむ様子が見られました。最後に生徒が書いた感想文をいくつか紹介します。



す」という新しい問題が出てきました。いざ話をしようとしてみると、どうやって話せばいいんだろう？ どうしよう？ばかりが頭に浮かんでなかなか話し出すことができませんでした。私は想像以上に今までの知識が定着していないことに驚きました。その時になって総復習してくればよかったです。でも何とかして話さない！と思っただけは、間違っていて当たり前前回の気持ちで話してみることが大切な事だと気づけました。話しかけることができるようになってからは、すごく距離が縮まって嬉しかったです。次に驚いたのが常識や文化の違いです。（中略）自分や日本の常識が必ずしも世界中の常識ではないことに初めて気づき、とても面白いと感じました。少しだけ、自分の中の知っている世の中が広がった気がして嬉しかったです。



感謝

高1 杉本 彩代

ニュージーランドの暖かさというのと、ニュージーランド自体が人にも自然にも優しいことです。事前学習でニュージーランドには公用語が3つあり、英語・マオリ語・そして手話があることを知りました。手話を公用語としている国は世界に3つしかなく、誰もが暮らしやすいような国を目指しているのが伝わり感動しました。また、ニュージーランドには国立公園が6つあり、その内の1つが、自然遺産です。人間だけが暮らしやすいのではなく、植物・動物も暮らしやすいのです。

（中略）学校では1人では相手ができないほどたくさんの子が話しかけてくれて嬉しく、数え切れないほどの思い出ができました。ホームステイではワイナイオマタやウエリントンの名所に連れて行ってもらいました。そこで会う人ともコミュニケーションを取り、一期一会とはこの事だと思いながら過ごしました。



劇団自由人会『夢をかなえるゾウ〜青春ロボット編〜』

◆2018年5月29日(火) 於・ほつま体育館

「なりたい」「やりたい」気持ちがあれば…

中1 川合 夏末

私は今日の演劇を見て、「夢をかなえることとはとても大切なことだ」ということが改めてわかりました。夢をかなえるためには、身近な人に相談して努力して「なりたい」「やりたい」と思うことをずっと続けることができないといけないと思いました。私は、将来小学校の先生になりたいと思います。なので、今回の演劇を生かして、「なれたらいいな」と思います。



この劇では、神様「ガネーシャ」が主人公の男の子と助けあいながら、一緒に生活もしていきます。そ

の時に「ガネーシャは、本当に神様なのかな？」と最初は思っていました。しかし、話が進んでいくと「ガネーシャ」は、主人公のことを何でも知っていて「本当に神様なんだ」と思えてきました。「ガネーシャ」と主人公の男の子はとても仲が良くなって、面白かったけど、大切なことは「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに」という金光学園の合言葉も交えて進んでいったので、とても勉強になりました。これから私も、この合言葉を心にとどめ、部活も勉強も頑張りたいです。



なうのだな、他の人たちも応援してくれるようになるのだなと気づきました。私も将来の夢に向かって、頑張ろうと思いました。

魅力的

中2 根津 真凜

「もう一度見たい！」それが、見終わったらあとすぐ思った気持ちだ。それほどすばらしい劇だった。感動の青春物語の中に笑いを少し交えていて私はすごく面白かった。また感動もした。ゾウの神様のガネーシャはすごく私達に大切なことを言っていて勉強になった。

特に心に残っていることは、「夢をあきらめるな」という言葉だ。手をけがしようとして友達がい

最悪の状態になろうと親に反対されようと、違う視点で見て夢をあきらめないほうがいい。それを教えてくれる魅力的な演劇だった。



私もこの主人公のように夢をあきらめないようにしたい。誰かに反対されても決してあきらめない人になりたい。今ままで誰かに反対されたらすぐにやめてしまった私。これからは何事もあきらめずに、夢をあきらめずに、自分の意見をしっかりと伝えるようになりたい。

ほつま祭でもプロの技を

中3 柗屋 希

今年のほつま祭で、自分達のクラスは演技をしようと決まりました。私は、過去2回のほつま祭の中で、一度も先輩方の舞台を見たことがありませんでした。少しでもプロの技を盗んで使えるようにしっかりと見ようとしようと思いで見始めました。



劇が始まると、さすがはプロだという風に一気に舞台に引き込まれて

いくような感じがしました。セリフの読み方はもちろん仕事草も大きくハッキリすることで、より観客に伝えやすくなるのではないかと思えました。

何か夢やしたいことが見つかった時、何も努力しないで、あきらめたり、投げ出したりするのではなく、自分にできる最大のことをする。壁にぶつかった時こそ、「運が良い」と思っ



る私はとても幸せなんだと感じた。劇の中で主人公は家業を受け継いで欲しい父親と対立、その友達は家業が傾いて、夢を語れる状況ではなかった。それでも彼らなりに悩んで、もがいて、時には有難いお言葉をもらって、最後には夢を勝ち取ることができた。逆風に立ち向かった彼らに比べ、私は逆風な人ではなくて、むしろ追い風が吹いているのに、全然前へ進めていないと感じる。まだまだ努力と感謝の気持ちが足りないのだと分かった。それが分かっただけでも私は運が良い。これから夢に向かってどうあがいていくかが重要だと思う。私にあるのは夢とそれを支えてくれる家族、困ったときには助けてくれる友達。それを糧にひとりよがりにはならないように気を付けて、全力で頑張っていきたい。

感謝を忘れず夢に向かって

高1 光畑 帆海

とても楽しい劇だった。特に「ガネーシャ」が良かったと思う。あの会場にいた皆の心をつかんでいたように思う。ほつま祭で演じる機会があれば、私もそのようなはまり役をやってみたいと思う。夢を追い続けられる、応援してもらえ

ガネーシャの教えから学んだこと

高2 杉田 愛佳

私は「夢をかなえるゾウ」というお話を始めて知りましたが、内容がとても今

の私に響いてきて本当に感動しました。ガネーシヤが主人公に出す1つ1つの課題はどれも今の自分にも言えることで、演劇も見ながら主人公と同じ立場に立って自分と向き合うことができました。その課題の中に毎日必ずあった「夢を語る」ということは本当に不思議な力があるなと思いました。身の周りの人に自分の夢について語る機会はあまりないかもしれないけれど、勇気を出して自分のなりたいたいものや夢を口に出すことで、本当にそれをかなえようとするエネルギーが湧いてきて、夢に向かって頑張れるのだなと思いました。「ついでに」とか「運がいい」とかどんなにどん底でもそんな風に考えることで苦しい場面でもそれを乗り越えることができるということにも気づかされました。心に残った言葉は、「独りよがりしない自分



の夢が誰かの喜ぶものとなる」という言葉です。家族がかける言葉がどんなに小さくても当たり前のことと思わず、感謝の気持ちを忘れずにいたいと思います。そして、家族や周りの大切な人たちが喜ぶために、これからそんな仕事に就くために毎日の勉強も頑張ろうと思います。

感謝を忘れずに

高3 渡邊 七海

演劇を鑑賞して私は、ガネーシヤの課題からたくさんのお話を学ぶことができました。受験が近い私にとって主人公の境遇は様々な場面で自分自身と照らし合わせることででき、自分が本当に叶えたい夢、なりたいたい将来を実現させることの難しさと大切さを実感しました。親からの反対や病気など、夢の実現までには壁も多く、決して容易に考えてはいけないうこと、しかし、自分が本当にやりたいこと、叶えたいことを絶対に捨ててはいけないこと。妥協してはいけないこと、周囲の人に感謝を忘れないこと、そして、自分に嘘をつかないことをガネーシヤの課題から主人公は見つけました。「自分」というものをしっかりと見つめ直した上



で、自分の夢を周りに語ることができなくらいに大きく持つことの素晴らしさを学ぶことができました。今回の鑑賞を今後の生活に活かしていけたらと思います。自分の夢を諦めることだけはしないよう一杯頑張っていきたいです。そして周囲への感謝をいつも忘れることなく、いつも誰かに支えてもらっていることを心に留めて残りの高校生活を有意義なものにしていきたいです。

平成30年度大学入試結果

合格者数(現浪合計)
平成30年4月現在

国立大学……………合計 45

- 北海道(1) 帯広畜産(1)
- 東京外(1) 東京学芸(2)
- 信州(1) 岐阜(1)
- 名古屋(1) 京都(2)
- 大阪(1) 神戸(1)
- 鳥取(3) 島根(3)
- 岡山(10) 広島(2)
- 山口(4) 香川(4)
- 愛媛(4) 高知(2)
- 九州(1)

公立大学……………合計 13

- 首都大東京(1) 大阪府立(1)
- 大阪市立(1) 兵庫県立(1)
- 岡山県立(1) 尾道市立(1)
- 福山市立(2) 下関市立(1)
- 山口東京理科(1) 北九州市立(3)

私立大学……………合計 354

- 酪農学園(2) 東北福祉(1)

- 城西国際(1) 日本薬(1)
- 亜細亜(1) 慶応(1)
- 国学院(1) 国士館(1)
- 駒澤(1) 上智(1)
- 専修(4) 玉川(4)
- 多摩美(3) 中央(5)
- 帝京(1) 東海(2)
- 東京工科(1) 東京農(1)
- 東京薬(1) 東京理(2)
- 東洋(1) 日本(7)
- 日本獣医生命科学(1) 法政(6)
- 東京都立(3) 武蔵野美(3)
- 明治(6) 明治学院(2)
- 立教(3) 早稲田(2)
- 麻布(1) 神奈川(1)
- 湘南工科(1) 金沢工(7)
- 愛知学院(1) 中京(1)
- 南山(1) 皇学館(1)
- 京都産業(1) 京都女子(1)
- 京都精華(2) 京都光華女子(1)
- 同志社(1) 佛教(2)
- 立命館(2) 龍谷(3)
- 追手門学院(1) 大阪経(2)
- 大阪芸(3) 大阪工(2)
- 大阪産(2) 大阪商(2)

- 大阪体育(3) 関西(12)
- 関西外(4) 近畿(32)
- 摂南(3) 千里金蘭(2)
- 桃山学院(1) 大手前(1)
- 関西学院(12) 甲南(8)
- 神戸学院(12) 神戸芸術工科(1)
- 兵庫医療(1) 流通科学(5)
- 関西福祉(4) 帝塚山(1)
- 奈良(1) 岡山商(2)
- 岡山理(17) 川崎医(2)
- 川崎医療福祉(13) 吉備国際(1)
- 倉敷芸術科学(6) 山陽学園(2)
- 就実(11) 清心女子(6)
- 環太平洋(2) 広島工(3)
- 広島修道(3) 広島女学院(2)
- 福山(13) 福山平成(5)
- 安田女子(4) 広島国際(3)
- 比治山(1) 九州産(2)
- 西南学院(1)

- 専修・専門学校等**……………合計 12
- 東京スクールオブミュージック&ダンス(1)
 - ECCアーティスト美容専門(1)
 - 日本工学院専門学校(1)
 - 京都外語専門学校(1)
 - ヴェールージュ美容専門学校(1)
 - HALL大阪(1)
 - 朝日医療大学校(1)
 - 岡山情報ビジネス学院(2)
 - 岡山ビジネスカレッジ(1)
 - 玉野総合医療専門学校(1)
 - 穴吹医療福祉専門学校(1)

- 海外・海外進学準備**……………合計 3
- オークランド工科大学(1)
 - 進学準備(台湾の大学)(1)
 - 開南大学(1)

就職……………合計 2

- 防衛大学校(2)

私立短期大学……………合計 3

- 関野大寛都(1) 武庫川英契(1)
- 就実短大(1)

省庁大学院……………合計 2

- 防衛大学院(2)

新入生歓迎会

学園の一員になって

1組 小林 なな子

音楽が鳴り響く中、私はアーチをくぐり抜け位置に着いた。前に先輩たちがいたから少し緊張していたけれど、その中にはわくわくした気持ちもあり、笑顔がこぼれそうだった。生演奏の中入場することは小学校ではなかったので、とても気分が上がった。やはり、スピーカーから流れる音楽と、生の演奏とは全然違う。生の演奏だと体にズンズン響いてくるから感動した。

新入生歓迎会では、各学年の発表、部活動紹介、金光学園クイズとあったけれど、私が1番心に残ったのは、部活動紹介だ。小学校では年上の人でもちゃん付けて呼んでいたけれど、中学生になると学年の間に距離ができると聞いていた。だから、先輩たちと上手に接していけるかどうか不安だった。しかし、どの部も楽しそうで、先輩たちも明るくて優しい雰囲気だったのでほっとした。この時、



時に市の陸上記録会100m1位、走り幅跳び3位、西部地区の大会では走り幅跳びで2位になった。このことで陸上の楽しさがわかりうれしく思えたからだ。

2つ目はおじいちゃんをこえたいからだ。僕のおじいちゃんも金光学園に入学して陸上部に入り、いろいろと優勝して体育の先生になって、今は市の陸上協会の会長、県の協会の副会長になっている。おじいちゃんは6年の市と県の記録会の前に、学校が終わった後、陸上競技場へ連れて行って色々なコツを教えてくださいました。僕はここで努力の大切さとすばらしさを感じた。僕はおじいちゃんをこえ



金光学園に入れて本当によかったなと改めて思った。

金光学園クイズでは、一番最初の問題で間違えてしまった。しかし、先輩たちは全問正解の人がほとんどだったから、さすがだなと思った。私も、もっと金光

る選手になり、日本だけではなく世界でも活やくできるような選手になりたいと思った。こういう理由があり、僕は陸上部に入りたいと思う。1日入部の時には頑張りた。

新入生歓迎会

3組 島山 慶太

「新入生入場」

「ドクン」「ドクン」と自分の心臓が鳴っている。僕も本格的に金光学園の生徒だと思おううれしかった。

そして、入場をする。先輩達は僕達のためにアーチを用意してくださっており、ありがたみを感じながら通った。そして、あいさつをして座った。

すぐに「新入生のあいさつ」があった。「人をたいせつに 自分をたいせつに ものをたいせつに」というセリフがあった。このセリフをもとに僕もがんばっていこうと思った。

その後、2年生の出し物があった。どの所も僕達のためにいつも練習してきたんだと思う。次に、部活動紹介があった。どの部活



も部員が一人でも多くなるよう笑いを取って、入ってもらえるようにしていた。こういう風に考える所が先輩たち達はずごいと思った。おかげでどの部活に入ろうか考えられるし、入ったからにはやりきってやろうと思った。

最後に金光学園クイズは5問あるうち

学園のことを知っていきなと思う。そして2、3年生の発表も、1人1人が生き生きと楽しんで楽しそうだった。私も何年後にはあのように楽しい生活を送っているのだなと考えると、最初よりもっとわくわくしてきた。

これからは学園の一員として、勉強も部活も頑張っていきたいと思う。そして

「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」を合言葉に充実した毎日を送っていきたい。

歓迎会の部活動紹介を見て

2組 小寺 雄晴

「なあ、何の部活に入る？」

「やっぱりサッカーかな。お前は？」

「俺は陸上部に入りたいな」

教室では何部に入るので話がすごく盛り上がった。新入生歓迎会で部活動紹介があったからだ。

部活動紹介では、バスケットボール部や、テニス部、生物部などたくさん部活がどんなことをするのかを説明してくれた。

僕が一番入りたい部活は陸上部だ。理由は2つある。1つ目は小学校6年生の

の1問目で終わってしまい残念な結果だったが、金光学園のことがもつとくわしく知れてよかった。

このような楽しい時間はあつという間に過ぎてしまい、もう退場。

「新入生退場」という声とともに新入生と先輩方が準備した。そして歩いていると同時にくす玉が割れた。そのくす玉に新入生へのメッセージが書いてあった。それを読みながら退場した。

このように先輩方は僕達のために一生懸命やってくれて本当に感謝している。これからもよろしくお願いします。

先輩たちのすこさを感じた1日

4組 山口 奈津美

「がんばります！」

この言葉を、みんなで合わせて言った。これは呼びかけの一部である。私はみんなで息が合ってた時、とてもうれしかった。なぜなら、当日の1時間目しか練習していなかったからだ。私は本番直前、ここで学年の「団結力」が出せるかどうかだなどと思った。そして、みんなで息が合った時、入校時合宿で学んだことが早速発揮できたと感じた。そうして、

新入生歓迎会が始まった。

特に心に残っていることの1つ目は、中学2年生と3年生が歌を歌ってくれたことだ。中学2年生の先輩方は、アルトとソプラノのハーモニーがすごくきれいだった。中学3年生の先輩方はピアノの音とびったりあっていてすごかった。どちらの歌も、とても思いが伝わってきた。

先輩方の歌を聞いて、私も自分の思いが伝わるような歌を歌いたいなと思った。

2つ目は、部活動紹介である。どの部活もとてもおもしろそうだと感じた。そう感じたのは、先輩たちがうまくそれぞれの部活のいい所をアピールしていたからだ。1分間という短い時間の中で、実演したり、実物を持ってきたりと工夫してアピールしていた。それぞれの部活に合った工夫をしてすごいなと思った。

新入生歓迎会を通して、改めて先輩たちのすこさを感じた1日だった。この他にも、会場まで優しく連れて行ってくれたり、入場・退場の際は温かい拍手でおくってくれたりした。来年、私は2年生になり、今の先輩たちのように優しく、そして素晴らしい先輩になりたい。



中1 入校時合宿

私たちの誓い

1組 岡本 愛花

「きずなの火 私達1年1組34人は友達とのきずなを、このめぐりあいを大切に、友達と仲良く協力し、明るいクラスになるように1年間頑張ることを誓います」

1年1組34人で誓ったあの夜。私はこの言葉を1年間、忘れることはないだろう。

4月20日、入校時合宿の当日。私は、この日を楽しみにしていて、朝から心が弾む気持ちでいた。クラスの団結力を強くすると共に、班のメンバーと仲良くなるチャンスだったからだ。町内クリーンオリエンテーリングや集団ゲームなどの色々な企画がある。その中でも私の心に一番残っているのは、キャンドルサービスだった。この時間はふざけてはいけない。厳粛な会なのだ。私たちはこの会のために火を決める話し合いをした。

「きずなの火は？ 友達とのきずなを



大切という意味で」

そんな感じに、色々な案の中から決まった名前。全員が1つの思いになる時間。火がろうそくに付いた時。みんなで誓ったあの言葉。クラスの団結力が深まった。そして、ろうそくの火が消えた。

「ろうそくの火は消えたけど、私たちの心の中ではいつまでも輝き続けることでしょう」実行委員の人が言った。そう、今、私の心の中では、誓いの言葉が輝いている。

私は、誓いの言葉を忘れない。いや、忘れてはいけない。クラスが1つになるために言ったんだ。だから、私は覚えておく。今日、この会でクラスの団結力が強くなったと思っている。この会を通して、これからもっと仲良くなりたい。そう私は思っている。私は明日へと歩き出していく。成長したクラスの団結力とあの言葉と共に……。それがあればきっとどんな事でも頑張れる気がする。これからも、たくさんの友達を作りたい。

たくさん学んだ入校時合宿

2組 大橋 莉実

楽しみだなと胸をおどらせながら私は金光学園に行った。なぜなら、ずっと楽しみにしていた入校時合宿だからだ。不安な気持ちも少しありながらもわくわくでいっぱいだった。

私が1番心に残っているのは、夜の集いのキャンドルサービスだ。私はキャン



て、135人の気持ちが一つになったように私は感じた。

そして、1つ1つのろうそくの明かりには、いろいろな想いがこめられているのだと私は思う。

私は火に誓った。

「勉強や部活を最後までやり抜き、そして努力をし、友達をたくさんつくり、みんなにやさしくできる人になりたい」この想いを胸に刻み頑張っていきたい。

ドルサービスをしたことがなくて、電気をすべて消すということ

を聞いたときは、恐い気持ちがあった。だけど、実際にやってみると、1つ1つ

ろうそくの火の明かりが見とれてしま

そのほかにも、集団ゲームや夜スタ、町内クリンオリエンテーリングなどをした。たくさんの人と話して、新しい友達もできて、すごくうれしかった。そして、私がこの入校時合宿で学んだことは、友達と協力することで、1人ではできないことができたり、みんなで気持ちを合わせることが大切だということだ。これからは、入校時合宿で学んだことを活かし、頑張っていきたい。

入校時合宿で学んだこと

3組 山本 晃成

入校時合宿が始まった。僕はこの合宿で2つのことを学んだ。お互いの感情を知ること、そして規律を守ることの大切さを学んだ。

まずお互いの感情を知ること。これは相手を大切にすることだけでなく、自分自身も大切にすることだと思う。相手の感情を知り、自分におきかえて考えようと、素直になって声をかけてあげられる。これをするとな自分の感情も共有できてどちらのことも大切にできると思う。

次に規律を守ることの大切さ。これはいつでものことだ。例えばキャンドル



サービスの際は、厳肅な雰囲気ですぐに私語をつしめ行う、就寝時には疲れている人のことを考え、人としゃべったりして迷惑をかけない。こんなきまりを守ることと、みんなが落ち着いて生活ができると思う。

この2つの、お互いの感情を知ること

と規律を守るとをしていると、後に金光学園の合言葉である、「人をたいせつに 自分をたいせつに ものをたいせつに」、これがだんだんとできていき、いろんなことを守れる、最高な学年。いや最高な学校にできると思う。

そのためには、これから先の体育会やほつま祭、球技大会などの行事で他の学年の人とのふれあいを大切にしていけばいいと思う。そして、この金光学園の合言葉をもつともつと大切にしていけると思うし、最高の学校にできると思う。

35人の火

4組 岡崎 葵

「なぜ入校時合宿があるのだろうか」

私は入学してから今までずっと思っていた。その理由は、入校時合宿をしなくても集団生活の規律は十分理解できていると思っていたからだ。でも、私は前日にどんなことをするのか何回も確認した。どれもこれから役立つことや楽しそうなものばかりだ。その中で私が注目したのは「夜の集い」だ。

次の日、入校時合宿が始まった。町内オリエンテーリングや校長講話、健康教



育などこれから役立つ説明や楽しいゲームを行った。どれも、あつという間に時間が過ぎていく。そして、私が注目していた「夜の集い」がやってきた。夜の集いは一部と二部に分かれている。一部

は実行委員が考えてくれていたゲーム。勝ったときはクラス全員で喜び、負けてしまったときはクラス全員でくやしがり、クラスの絆が深まった気がした。そして第二部、内容はキャンドルサービス。これは一部と違って厳肅な式だ。私は4組の代表者。そのため人一倍緊張していた。4組の「火」は「35人の火」。1年間33人の生徒と2人の先生方ががんばろうという思いを1人1人がしっかりと持ち、誓った。

私は、生活規律は小学校の授業や修学旅行などの行事で十分理解できていると思っていた。しかし、入校時合宿を行ってみて就寝するときにはもつと相手のことを考えないといけないなと思った。この入校時合宿では、集団ゲームなど楽しいと思える時間がたくさんあった。それ以上に学ぶこともできた。キャンドルサービスでは「35人の火」を誓うことができた。この言葉を忘れず、1年間どんなことがあっても協力し合い頑張ろうと思う。またこの入校時合宿をよりよいものにするために頑張ってくれていた実行委員、先生方に感謝したい。

中3沖縄修学旅行



My memories

1組 渡邊 誠悟

修学旅行での思い出と聞かれると何を答えるだろう。平和学習、民泊、国際通り、友達、ホテル、海など思い出がたくさんある。その中でも僕はこの修学旅行で友達との関係が1番の思い出だ。

おそらく他の人はこのようなことは書かないと思うが僕はこの修学旅行が友達作りの場になった。転入して間もない僕に友達はあまり存在していなかった。しかし、バスの席、班、ホテルの部屋などを通じて僕はたくさんの友達を作ることができた。

2番目の思い出は民泊だろう。民家さんと家のすごさに圧倒された。民家さんと過ごした時間はとても少なかったが、とても充実した時間になった。民家さんと海を歩いたことや、一緒に貝を見つけたこと、とても美味なご飯やサーターアングギーを作ってもらったこと、カヌーや魚釣りなど忘れもしないだろう。このこと以外にもたくさんのことをしていただいたから感謝の気持ちでいっぱいだ。

3番目の思い出は夜の集いだ。勝手に実行委員会みたいな感じになって先生方

には迷惑をかけたが、集計係という役をいただき、実行委員の役に立てたと感じた。また、本番でのあの盛り上がりは予想以上のもので、みんなが盛り上がるように計画を練って頑張ったかいがあったし、学年全体が笑顔になった夜の集いになったので良かった。

このように思い出を語りだすとキリがない。また、順番を付けたが、修学旅行1つ1つが全て楽しかった。クラスにも馴染むことはできたし、民泊の方々ととても楽しい時間を過ごすことができたし、この修学旅行が自分にとってとても意義あるものだった。もう、このような学年全体で沖縄に行くことはないと思うが、この修学旅行で学んだことを活かしていきたい。



自然・家族・友達への感謝

2組 三原 百萌花

私はこの修学旅行で戦争のことが最も印象に残っています。資料館も怖かったけど、ガマの中が1番怖かったです。真っ暗な中、足の踏み場もないほどたくさんの人がいて、殺されないように息を殺してびくびくしながら何日間もこの場所にいたと思うと、鳥肌が立ちました。

また、資料館もガマと同じくらい怖かったです。何百年も前ではなく、たった73年前に戦争でたくさんの方が自殺したり、相手にやられて亡くなったたりされた方々の情報がたくさんありました。沖縄に行つて何回か資料館に行ったことがあるけど、こんなに戦争のことについて考えて入ったのは初めてだったので、今までとは違う気持ちでいました。沖縄には戦争の痛みが生々しく残っていて、それを思うと複雑な心境にもなります。当然ですが、自分は戦争を経験していません。辛さも、痛みも、苦しみも、想像することしかできません。そんな私たちに伝えることは、戦争の残酷さを次世代に伝えていくことだと、私はこの平和学習で強く思いました。



民泊の思い出もすごく残っています。はじめ、民泊と聞いたときは、不安の気持ちでいっぱいでしたが、過ごせばいいのかととても不安でした。しかし、そんな不安は必要ありませんでした。すぐ民家の方と打ち解けることができました。民家の方にいろいろなるるところに連れて行ってもらいました。その途中、沖縄のことに



ついてたくさん話してくれました。民家の方が沖縄のことを話してくれているときは、とてもやさしい顔をしていて本当に自身のために感謝の気持ちを感じました。また、たくさんの方から学んだ、自然への感謝、家族への感謝、友達への感謝など多くの感謝を忘れずに生活していきたいです。

本日に充実した4日間でした。また、たくさんの方から学んだ、自然への感謝、家族への感謝、友達への感謝など多くの感謝を忘れずに生活していきたいです。たくさんの方から学んだ、自然への感謝、家族への感謝、友達への感謝など多くの感謝を忘れずに生活していきたいです。

驚きの連続

3組 関本 祐樹

僕たちは、沖縄に修学旅行に行きました。

まず、初日に、糸数アブチラガマというところに行きました。糸数アブチラガマは、太平洋戦争の沖縄戦で陸軍の病院として使われていたガマです。中に入ってみると、とても驚きました。自分たちのいつもの光が当たっている平和な世界とは違い、暗くて、光が一切差し込まない場所でした。当時は、外は砲弾が飛び交っている状態で、外よりも光1つ無い場所の方が安全だったので、沖縄の人たちは、自分たちが入れるガマを探したそうです。ガマの中は、暗く、狭く、いつもの当たり前の世界ではなかった。自分たちが入ったガマで亡くなった人もいると聞きました。とても胸が痛みました。やはり、戦



争はやってはいけないと思いました。

また、ひめゆり資料館では、自分たちと同じくらいの年齢の女性の方々がたくさん亡くなっていたことを知りました。また、アメリカ兵隊に殺されてしまった人には、日本軍の人たちだけでなく、沖縄の人もいたことを知りました。さらに、自分たちと同じくらいの男女が爆弾を抱えて、戦車の中に飛び込んでいったというところにショックを受けました。戦争は決してしてはいけないう事を変えて知りました。

また、民泊では、沖縄の料理や方言など、沖縄の独自の文化に触れることができました。沖縄の料理や文化はどれも驚くものばかりで、とても興味深かったです。とても海がきれいで、おどろきの連続だった事を今でも覚えてます。

また、3日目の夜にあった夜の集いでは、実行委員長として、夜の集いが成功してとても嬉しかったです。メンバーで連携できていたからだと思います。チームワークの大切さを改めて知りました。沖縄修学旅行を通して、とても良い経験ができました。また機会があれば行きたいと思いました。

今の生活がどれだけありがたいか分かった

4組 廣江 純

僕は沖縄での平和学習で沖縄戦の悲惨さを知ると同時に、今の自分の生活がどれほどありがたく、幸せなのかということが分かった。

ガイドさんの話を聞いてみると、昔の人々は「国のために死ぬ」ということは常識であり、死に対して恐怖ももっていなかったと言っていた。自分はバスの中で半信半疑だったが、実際ガマの中に入ってみると自分に恐怖がおそってきて、全員手に持っていたライトを消すとなおさらだった。あんなにも暗い中でよく生活できたなあと思う。昔の沖縄の人々は死ぬことが怖いのではなく、生きることを考えなかつた。



たのだと思う。もし、自分もガマの中で生きなければならなくなったら、生きることにへの執着心はなくなると思う。そんな中学生のびた人を自分は尊敬する。

そして、3日目の民泊では沖縄の人のあたたかさや優しさを知った。また、様々な体験をした。例えば、貝がらやビー玉を使った工作をしたり、観光に連れて行ってくれたり、自然に触れたりした。中でも海のきれいな印象に残っている。あれほど澄んだ海は見たことがなかった。また、自然がそのまま残っているのすごくきれいで感動した。民家の方は自分たちのことを考えた行動をとってくれ、すごく感謝している。また機会があったら古宇利島を訪れてみたい。

そして4日目の国際通り。人数の多さにびっくりした。また、建物の多さにも驚いた。クラスを越えたテニス部のメンバーと一緒に行動できてうれしかった。また、最後は集合時間までにみんなが集まったので大きな進歩だと思う。だから、これを受けて、もっと良い学年になったらいいと思う。

沖縄修学旅行では新しい友達もでき、今の友達ともっと友好を深めるこ



とができたと思う。またクラス全体でもまとまり始め、これからさらに楽しい学校生活を続けていきたい。

平和な世界がずっと続いてほしい

5組 桑野 友美

待ちに待った修学旅行。私はこの修学旅行でたくさんさんの良い思い出ができました。

その中でも、私が特に心に残ったのは民泊です。私のグループは、まず初めにピース貝ストラップを作らせてもらいました。「貝の形が手でピースをした時の形と似ているからピース貝っていうんだよ」と民家の方が教えてくれました。見てみると確かに似ていました。また、写真立てでも作らせてくれました。琉球ガラ

スや貝殻などを使って作りました。琉球ガラスがとてもきれいだと思います。どちらもよい物を作ることができ、とてもよかったです。そのあとにBBQをしました。お肉がおいしかったです。食後には、サーターアンダギーを作りました。みんなで生地をまるめて、油で揚げました。出来上がった時の2分の1ほどの大きさで丸めるという事に驚きました。油の中に入れて、時間が経つてくるにつれて浮いてきて、ころころと回転しながら大きくなってできるという事を初めて知りました。

2日目には、古宇利タワーやハートロックに連れて行ってもらい、景色がとてもきれいなあとと思いました。また、お昼にはタコライスを食べました。とてもおいしかったです。私はこの民泊を通じて、たくさんのお話を聞かせてもらったり、民家の方といういろいろな話をする事ができてとても楽しかったです。また、民家さんの家の前から、古宇利島の海や景色を見わたすことができ、最高でした。楽しい時間は、あっという間に過ぎてしまったけれど、とてもよい時間を過ごす事ができ、すてきな思い出になりました。

山の学習 中2



傷だらけの最終日

1組 板阪 美紀

動きすぎて体もあちこち痛くてもう体力も残り少ない最終日。私の課外活動は、ロッククライミングでした。

2人の先生と共に森の中を進んで、そこら中にある岩を次々と登っていきましました。1つ目の岩は登れたけど、2つ目の岩は少し難しく、どうやったら楽に登れるのか考えました。逆と同じ岩でも場所



ました。
しかし、そんな沖縄にも暗い過去があったという事も知りました。実際に戦争中に使用されていた壕の中に入りました。入り口はとても狭いのに、奥の方に進むと大きな空間がありました。途中で、懐中電灯を消すと、本当に隣の人も見えないような暗さで、とても怖かったです。けれど、昔の人はそんな空間に何日もずっと、敵に見つからないように静かにいたと知り、とてもかわいそうだと

思いました。その上、壕の中で死んでしまった人を外に出すと敵に見つかってしまいかもしれないから……と、死んでしまった人の臭いもとてもきついと思うのに、誰一人、壕の外に出ようとしなかったと聞き、どれほど戦争が大変だったの

修学旅行短歌コンクール

江口 聖人

若人も おじいもおばあも あたたかい
行逢りば兄弟 沖縄のSUNSHINE(心)

森井 颯汰

悲しみの 見知らぬ名前 なでながら
平和の尊さ 我にも刻む

森上 雄希

夜の集い 副校長に 気に入られ
優勝しちゃった 女装大会

廣井 偲欬

シーサーを 探してみても バスガイド
いすぎて困る 屋根の上

平松 正豆

雲間から サンゴが広がる 青い海
飛行機降下 気分は上昇

橘高 優

民泊で 初めて弾いた 三線は
ぎこちないけど うちなーの音

安原 隆一

めんそーれー はじめてかわす 沖
縄語 そしてさいごは またやーさい

山本 真由

ひめゆりの 辛さ伝わる ガマの中
肌で感じた 尊い命

によって難易度がちがったりしてとてもおもしろかったです。
3つ目あたりの岩でうっかり足をすべらせて落ちてしまいました。それほど高いところではなかったので重傷ではありませんでしたが、足は傷だらけでポロポロでした。でも、難しい岩に登りきれたときの達成感のはかりしれないものでした。
家に帰ってお風呂に入るときは傷にしみましたが、とても充実した最終日でした。いつもは味わうことができない自然は新鮮でした。

感動と感謝

2組 大橋 沙和

「やったー」

私も友達も先生も全員頂上まで登ることができた。まるで夢を見ているようだった。辛かったことが全て風と一緒に吹き飛んでいった。この空気が味わえるまでは苦労との戦いだった。

大山へ向かうバスの中では、にぎわっていた。大山が見えてくると皆、興奮していた。とても高く見える。これからあの山に登ると思うとワクワクもするが、



やはり疲れそうという気持ちの方が強かった。

下山駐車場に着いた。目の前には大山がある。いよいよ登山開始。ゆつくり自分のペースで登ろうとするが、高い階段でペースが崩れてしまう。しかし、友達と楽しい話をする事で心をほぐす。6合目を過ぎると、ゴロゴロとした石が私を襲う。つまづきそうになったり、滑りそうになったりして心が折れそうになったことも多々あった。けれど、ここで負けず嫌いな心に火が付いた。「辛いことを耐えて頑張れば、きっといいことがあるから」弟が言っていた言葉を思い出した。

ついに頂上に来た。涼しい空気。これまで頑張った甲斐があった。友達と顔を見合わせて笑顔。嬉しかった。そして、日本海、沖ノ島を見た時は感動した。

この登山でサポートして下さった方々、先生、どんな時も励ましてくれた友達、そして、ここまで絶えず頑張ってきた自分に感謝の気持ちでいっぱいだ。これからも学園の合言葉「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに」を胸にたくさんさんの壁に勝っていききたい。

キャンプファイヤー

3組 齋藤 光希

私が今回の山の学習で心に残ったことはキャンプファイヤーです。最初に雨が降っていたので、私はもしかしたらキャンプファイヤーができないかもしれないと思って、とても憂うつな気持ちでした。しかし、有馬先生から「キャンプファイヤーはやる」と聞けて、とてもうれしかったです。開始が二時間遅れてしまいました。先生の話聞いて、点火されたとき、私はハッと息をのみました。それはとても美しく、力強くまるで私たちに何かを

訴えているようでした。とても楽しいスタンプが終わり、ついにクライマックスになりました。クラス代表の古谷君から火をもらい、班員に分け終わり戻ったとき、周りを見渡してみると隅々にまで火が行き渡った様子が見られました。皆で「Lemon」を歌って、天に火を掲げるととても不思議な気分になりました。

その時、ふと空を見上げてみました。火が着いたときや歌を歌い始めたときには雲がかかっていたのに、見上げたときはとても美しい夜空が見えました。しし座やおとめ座、北斗七星や北極星。スピカ、デネボラ、アルクトゥルスの春の大三角。火星らしき星や名前も知らない星々がとても美しく、夜空に映っていました。大佐町の星空の美しさはOBの先輩から聞いていましたが、予想以上のものでした。気づいたら涙を流していました。私はこの美しすぎる星空とキャンプファイヤーを大切な友人と素晴らしい先生方、スタッフさんと見ることができて、今回の大山登山とキャンプの成功を確信しました。私はあの美しい星空の下、友人と先生と行ったキャンプファイヤーを死ぬまで忘れないでしょう。

自然が見せる一面

4組 藤原 京香

この山の学習を通して友情を深めることができたが、私が一番忘れられないのは自然が見せる色々な一面だ。

大山登山では自然の危険さと偉大さを見る事ができた。登山中に急な階段や足場の安定しない道など命に係わる箇所が何度もあり苦しかったが、山頂から見える青い海に空、緑が生い茂る山には圧倒され感動した。

また自然の中で生きていく厳しさも知った。キャンプ場についたときは小雨だった雨が次第に強くなっていった。そのため夜はとても寒かった。そして風も強く厳しい環境だった。だからこそ印象深い思い出となった。

2泊3日という短い期間で自然のいろいろな一面を見ることができた。そして、苦しさや厳しさ乗り越えた先には一生の思い出になるものがあることも自然は教えてくれた。いろいろな事を学ばせてくれた自然に感謝し、大切に守っていき

大山登山で得た自信

5組 松田 紗奈

私は山の学習でたくさんのお話を学びました。その中でも大山登山は記憶に濃く残っています。

4合目までは友達と話しながら楽しく登っていましたが、途中から無言が続きました。だけど、学園生として忘れていなかったことは「あいさつ」です。疲れて、下山してくる人たちへのあいさつを忘れていたこともありましたが、友達と、あいさつだけは絶対しようとして実行しました。また、登っているときに外国の人に出会いました。私の体操服に書いてある漢字を読んで名前を覚えていただきました。このチャンスを利用してはならないと思い、英語で名前を尋ねました。「リチャードさん」という名前だと分かりました。登山中何度も出会って「お久しぶり」と声をかけていただき、ベストフレンドになりました。私は英語をペラペラ話して、外国の方と会話するのがあこがれであり夢でもあります。今回の出来事も夢への一歩となりとても嬉しかったです。

登山中には大自然を身近に感じること



ができました。鳥のさえずりやリング状の虹、時折見える山々や日本海には感激し、疲れていることを忘れてしまいました。頂上に登ったときの景色や達成感は、私の中に一生残っていると思います。

今回の大山登山は私に大きな自信を与えてくれました。この経験を生かして、より良い学園生活を送っていききたいと思います。

会報

総会 4月28日(土) 1限目、授業参観、2限目、学級会、3・4限目、ほつま体育館において、30年度総会と記念講演会が行われた。総会では、各部からの会務報告の後、29年度会計決算報告がされた。役員数の変更について、事務局から提案が出され、副会長を1名増やすことが承認された。その後、役員改選が行われ、新三役が選任された。(※別表参照)

総会後の記念講演では、講師に小澤治夫先生(静岡産業大学副学長)が「学力・体力・気力の向上は生活習慣の立て直しから」東大生・タレント・一流スポーツ選手に学ぶ」の演題で、できる人に共通しているのは、規則正しい生活習慣と、自己管理能力の高さ。そして、私が提唱している8カ条の実践の大切さと今子供たちが抱えている問題に対して、大変明快にお話をしてくださいました。なお、この講演を教養シリーズとして、9月に

発刊する予定です。

第1回全役員会・評議員会

5月16日

(水) 役員会開催に先立って食堂の試食会を開き、多くの方が参加され、良い点や今後改善して欲しい点など多くのご意見をいただきました。全役員会では、全役員と評議員の任務内容の確認、年間予定等について説明があった。評議員会では、各専門部役員の見定後、各部長・副部長が選任された。(※別表参照)その後、30年度活動方針、予算案について検討し承認された。

第2回評議員会

6月4日(月) 研修会等の出席者確認、地区会、友愛セー

ル、オープンスクールの協力、各専門部の活動内容の検討等について協議した。

各部 部長・副部長		新三役		
指導部	教養部	庶務部	副会長	会長
池田真紀子	中川由美	柗屋 緑	甲田博豊	横藤田 晋
森本扶三代	眞田洋子	片山由恵	佐藤桂子	定平真紀子
			丸本栄作	難波福男
			亀山妙子	三原一恵

諸国会

- 5月12日 浅口市里庄P連総会 寄島公民館(丸本副会長、横山教頭) ●5月29日 備西地区高P連春季総会 笠岡商業高校(定平副会長、金光校長) ●6月8日 県中高保護者会連合会会長会議メルパルク(横藤田会長、平松前会長、金光校長) ●6月8日 玉島警察署管内子どもを守る母の会総会 玉島警察署(中山・瀬崎評議員) ●6月15日 幼小中指導者人権教育研修会 浅口市中央公民館(指導部 戸田・中原評議員) ●6月18日 県高P連総会・研修会 ピュアリテイまきび(難波副会長、平松前会長、金光校長) ●6月19日 県広域特別指導協議会等岡支部総会 笠岡市役所(難波副会長、佐藤副校長) ●7月5日 浅口市里庄P連母親委員会第1回研修会 ふれあい交流館サンパレア(定平・佐藤副会長) ●7月10日 幼小中指導者研修会 ライフパーク倉敷(福嶋・眞田評議員) ●7月14日 社会を明るくする運動浅口推進大会 浅口市健康福祉センター(久本・加賀・田中・渡邊評議員)

平成30年度 やつなみ保護者会 地区会

No.	地区	日時	会場	出席教員
1	岡山以東	6/30(土)14:00~16:00	岡山ふれあいセンター第一研修室	水野 小畑 成田 吉森
2	倉敷第1	7/14(土)18:30~20:30	ライフパーク倉敷第3会議室	垣内 中島 平賀 志手
3	倉敷第2	7/14(土)14:00~16:00	倉敷市民会館第4会議室	長谷川 内田 天野 弓削
4	倉敷第3	7/14(土)14:00~16:00	倉敷市民会館第3会議室	守分 妹尾 友田 北川
5	玉島東	7/15(日)10:00~12:00	玉島市民交流センター第1会議室	宰相裕 内村 瀬戸 石田亜
6	玉島西 黒崎	7/15(日)10:00~12:00	玉島市民交流センター第3会議室	坂口 平田 土井 堤
7	富田 長尾 船穂 真備	7/7(土)19:00~21:00	玉島市民交流センター第4会議室	服部 佐藤洋 平川 小松原
8	竹 八重 占見 占見新田 地頭下	7/14(土)13:30~	ほつま記念ホール(中ホール)	小野 有馬 小郷
9	大谷 須恵 佐方	7/14(土)19:00~21:00	佐方コミュニティハウス	定金 山本澄 原田
10	鴨 方	7/11(水)19:00~21:00	浅口市中央公民館第1会議室	吉永 高田
11	六条院	7/13(金)19:00~21:00	鴨方町福祉センター2F和室	宰相夕 園田
12	寄 島	7/13(金)19:00~21:00	浅口市ふれあい交流館サンパレア	籠崎 亀山
13	里 庄	7/14(土)17:00~18:30	里庄町図書館	山本幸 高司
14	笠岡東	7/7(土)19:00~20:30	サンライフ笠岡第1研修室	田中 森下 松田
15	笠岡西	7/21(土)19:00~21:00	笠岡中央ふれあい会館	谷野 平岡
16	笠岡北	7/3(火)19:00~21:00	北川公民館	新谷 水岡 鳥越
17	井 原	7/7(土)18:30~20:30	アクティブライフ井原5F多目的学習室	中村 西山 角南 森谷
18	福山第一・三	7/13(金)19:00~21:00	福山市生涯学習プラザ(ローズコム内)	山下 藤原俊 石田崇 佐藤径
19	福山第二	7/7(土)19:00~21:00	福山市市民参画センター	岡田 城戸 佐藤正
20	福山第四A	7/14(土)19:00~21:00	緑丘公民館	小橋 細川 久保田 岡辺
21	福山第四B	7/16(月)10:00~11:30	緑丘公民館	藤井 東山 土谷 藤原祐
22	福山第五	7/1(日)13:00~	福山北部市民センター(第1学習室)	安田 戸田 久野
23	松 永	7/8(日)13:30~15:30	松永公民館第1会議室(西部市民センター内)	山路 塚田
24	尾道・三原以西	7/6(金)19:00~	しまなみ交流館会議室	久繁 大西
25	止 宿		個別に相談	石井 井上

高3人権講演
「私の歩んだ道」
元岡山盲学校教頭 竹内 昌彦先生

人間として何が正しいか

1組 金尾 涼乃

「自分が恵まれている」と私は今まで考えたことはありませんでした。400人に1人。今日の話を聞いて、これは私にも起こりえたことなのだと思い、心から驚きました。もし自分であつたなら。そう思い、私が今人のためにできること、しなければならぬことをよく考えてみようと思いました。「人間として何が正しいか」その言葉を忘れてはいけないと強く思いました。

自分の知らない世界

2組 田井 杏里紗

私は目が見えない世界は全く知らない。だが、知らないからと言って障がいのある人への偏見や差別があつてはいけない。まだ世の中にはそういう考え方を

持った人がいる。それがなくなつてほしい。私は将来、看護師になりたいと思つている。私が関わつていく人の中には先生命だに目が見えない人がいたり、耳が聞こえない人がいたりすると思うが、人それぞれ一生懸命生きているのだから、どんな人にも良い医療や偏見がない世界で生きていくのはあたり前である。道端などで困っている人がいたら声をかけたいと思う。

幸せの入口

3組 谷野 光琉

僕は今まで障がい者の人のことを人ごとのように思っていました。でも、今日の講演を聞いて、ありがたい人達と感ずました。400人に1人の目が見えないという不幸を引き受けてくれている。その人達がいるから、僕は何不自由なく楽しく生きてきている。その楽しい時間をもらえたことに感謝し、僕は誰よりも楽しく生きていきたいです。

今の自分

4組 西部 鈴花

今日の竹内さんの話を聞いて、生きる



ということを一から改めて考えなおしてみたい。そして、目が見えない人がこんなにも大勢の前で胸を張つて「自分は幸せです」と言えることに、「幸せ」や「生きる」ことに目が見える目が見えないは関係ないことがわかりました。目が見える自分が今できることはたくさんあります。そして目が見えない人が今挑戦できることもたくさんあることに、これからの自分の未来を勇気づけられた気がします。今日の竹内さんの話を無駄にしない人生をこれから送っていききたいです。

今日の話を聞いて

5組 竹谷 和真

僕は今日の竹内さんの話を聞いて、身体的障がいがある人がどれだけ辛い人生を歩んでこられたのがよくわかりました。そして、今日を生きていられることを親に感謝し、目の不自由な人がいたら、見て見ぬふりをせず、積極的に助けていこうと思います。

本当に聞けて良かった

6組 杉岡 将

竹内さんの話を聞いて何度も涙が出そ

うになり、とても心にぐつとききました。ところどころ自分にも重なるところがあつたので、僕も竹内さんみたいに負けずに強気でこれからの人生を歩もうと思いました。思い返してみると、自分は意外とマイナス思考だなと感じさせられました。何のために勉強や部活、人生を頑張れば良いのかが明確になりました。

竹内先生のお話を聞いて

7組 荒木 佳苗

私は以前、竹内先生の本を読んだことがある。そのときはこんな人生を歩んできた人もいるんだとしか思わなかったが、今回直接竹内先生のお話を聞いてすごく心に響いた。昔の障がい者差別のひどさなどから比べれば、今現在差別はなくなつてきているが、もっと良い社会づくりをしていきたい。今の私にできることは点字ブロックの上に自転車が置かれていたらそれをどかしておくことだと思つた。

ある日のホームルーム



中学3年1組

今回お邪魔したのは6月1日の6限、中学3年1組のLHRです。中学最高学年になってクラスの団結力も強くなり、雰囲気も非常によくなっている1組のみな。この日は、台湾からYang Hai Hsu schoolが来校し、その生徒たちと交流をしました。

5限終了のチャイムの後、1組の生徒たちは楽しみと緊張と不安とでとてもソワソワした様子でした。黒板に絵や文字を書いたり、伝統的な日本のおもちゃや遊びの紹介の確認をしたり。6限開始のチャイムより少し後にYang Hai Hsu schoolの生徒たちが教室に到着し、興奮と緊張の中、交流が始まりました。

まず、1組の生徒の中の一人、渡邊君から英語で挨拶があり、留学生の来校を歓迎しました。留学生たちも緊張してい

るようでしたがこの挨拶と拍手で笑顔が増えたように見えました。

今度は留学生から台湾についてのプレゼンテーションが行われました。留学生たちのプレゼンテーションは英語で行われたのですが、生徒たちは、分かる！という表情や今の何て言ったんだ？という表情を連発していました。しかしそこは流石1組の生きる力。お互いに教えあい、助け合ってクイズの問題に答えて見事台湾のお土産を獲得していました。

そこからは日本の伝統的な遊び・おもちゃの紹介というテーマで各グループに分かれての交流でした。自分の英語が通じるのかという不安を抱えている生徒たちが多かったのですが、いざ話しかけてみると「意外と自分の英語は通じるぞ」と思う生徒がどんどん増えていきました。



増えていきました。「先生、どういう風に伝えたらいいんですか」という質問が多く出て、長谷川先生もグループを回って一緒に考えて、アドバイスをされるシーンもありました。それでもわからない表現は、身振り手振りのジェスチャーも交えて積極的に説明してお互いの交流を深めていました。

長谷川先生の挨拶とともにこの日のLHRが終わりました。生徒たちは一緒に使った(作った)物を留学生にプレゼントするシーンも見えました。最後はみんな写真撮っていました。最後はみんな心を通じた生徒たちの表情は、まぶしいくらい輝いていました。

中学最高学年の生活もスタートしたばかり。どんな小さな経験でも中学3年生の今のこの瞬間の経験というのは二度と来ないし、どんな経験も自分たちの考え方や生活につなげていかなければなりません。そんなことを心配する必要なんてないくらい、きつと1組のみんななら成長できるという確信を持つことができました。濃い1時間になりました。



留学生も最初は緊張していたてなかなかか踏み出せずにいましたが、どんどん笑顔が

表紙の言葉

中2 藤澤 玲子

「寝ころんで 夏の富士山 ひとりじめ」

私がこの俳句に決めてから、寝転がって富士山を見るなんて、難しいことなのではないかと思いましたが、どういう状態なら容易に、富士山を寝転がってながめられるのだろうか。そうしたら、ふと逆さ富士が頭に思い浮かびました。少女からすると、見ているのは逆さ富士ではありませんが、水面に映った美しい富士山を見るのは新鮮ですし、容易に見ることができます。それこそが、まさに、「ひとりじめ」だなと思いました。

【学校・入試説明会】

月 日	会 場	内容及び時間帯	申込
5月26日(出)	福山 県民文化センター(文化交流室)	学校説明会 (14:00~16:00)	不要
6月 2日(出)	倉敷 ライフパーク(中ホール)		
6月 9日(出)	井原 地場産業振興センター(経営研修室)		
6月16日(出)	岡山 ピュアリティまきび(中会議室)		
6月23日(出)	金光学園 (授業公開)	授業公開 (8:45~) 学校説明会 (10:00~12:00)	不要
7月29日(日)	金光学園	オープンスクール PART I 「一日入学」下記参照	必要
9月15日(出)	倉敷 ライフパーク(中ホール)	入試説明会 (14:00~16:00) (個別相談会)	不要
9月22日(出)	井原 地場産業振興センター(経営研修室)		
9月29日(出)	福山 県民文化センター(文化交流室)		
10月 6日(出)	岡山 ピュアリティまきび(中会議室)		
10月20日(出)	金光学園 ※地域会場(模擬テストのみ) 岡山国際交流センター、県民文化センター福山	中学入試模擬テスト(9:00~12:30) 中学入試説明会(13:30~15:00) 個別相談会(15:00~16:00)	必要 不要 不要
11月 3日(出)	金光学園 ※地域会場(模擬テストのみ) 岡山国際交流センター、県民文化センター福山	高校入試模擬テスト(9:00~12:45) 高校入試説明会(13:30~15:00) 個別相談会(15:00~16:00)	必要 不要 不要
11月10日(出)	金光学園	入試説明・相談会(14:00~16:00)	不要

【オープンスクール PART I・II・III】

対象	行 事	日 時	場 所	内 容	申込
小中	PART I 一日入学	7月29日(日) 8:40~12:05	金光学園	授業・部活動体験 学校・入試説明会 国際化教育体験発表 個別相談会	必要
小中	PART II 文化祭見学	9月8・9日(土・日) 10:00~14:00	金光学園	見学とスタンプラリー 個別相談会	不要
小	PART III 中学体育会見学	9月30日(日) ※雨天順延 9:00~15:00	金光学園 グラウンド	参加種目もあります	不要

詳細は金光学園ホームページをご覧ください。

H31(2019)年度の中・高校募集用の「学校案内」ができています。
自由に配布できるように用意しています。ご協力いただける方は、
ご連絡ください。

HPにも掲載していますので、ご覧ください。

<http://www.konkougakuen.net>



以上 よろしくお願いたします。

日時 平成30年7月29日(日) 8:40~12:05

場所 金光学園中学・高等学校

対象 小学5・6年生と保護者の方
中学1・2・3年生と保護者の方

※4歳から小学4年生まで参加できるコーナーもあります。

内容 授業体験(小学生・中学生)
学校説明会
国際化教育体験発表(中学生・小中保護者)
部活動体験
制服試着コーナー その他

***一日入学スケジュール**

	小学生対象	4歳~小4 対 象	中学生対象
8:40~	受付(ほつま体育館下)		
9:10~9:20	オープニングセレモニー(ほつま体育館)		
9:20~9:40	オリエンテーション		
9:55~10:45	楽しい 授業体験	学校説明会① (保護者対象) 国際化教育体験発表	チャレンジ コーナー 授業体験 学校説明会① (生徒・保護者対象) 国際化教育体験発表
11:05~12:05	部活動体験 チャレンジ	学校説明会② (保護者対象) 国際化教育体験発表	キッズ プレイ コーナー 部活動体験 学校説明会② (生徒・保護者対象) 国際化教育体験発表
12:05~	個別相談コーナー(希望者のみ) 食堂体験(希望者のみ、当日食堂を利用できます)		

*PTAによる、お茶サービスや「なんでも相談コーナー」もあります。

【授業体験】 9:55~10:45

教 科	内 容「タイトル」	対 象	
A 国 語	ひと夏の思い出〜ドラマティックな作文を書こう〜	小5~6年	
B 社 会	世界と日本 ふしぎ発見		
C 数 学	謎解きは金光学園で!		
D 理 科	光と色の不思議		
E 英 語	Let's have fun in English!		
F 技 術	パソコンで作ろう!〜楽しい夏の中見舞い!〜		
G 美 術	マスキングテープで作るポストカード		
H 体 育	Let's play teeball!		
I チャレンジコーナー	楽しい工作にチャレンジ(途中退場できます)		小1~4年
J キッズプレイコーナー	みんなで楽しく遊びましょう(途中退場できます) (お絵かきや風船遊びなどで、楽しく遊びます)		4歳~小2年

*教科によっては定員に限りがあります。先着順で定員になり次第、第2希望とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

【部活動体験】 11:05~12:05

①新聞部 ②天文部 ③生物部(小学生のみ)
④電気科学部(小学生のみ) ⑤書道部 ⑥茶道部
⑦音楽部吹奏楽団 ⑧音楽部コーラス
⑨放送部 ⑩科学部(小学生のみ) ⑪美術部
⑫ラグビー部(中学生のみ) ⑬ソフトテニス部
⑭卓球部 ⑮野球部 ⑯サッカー部(小学生のみ)
⑰柔道部 ⑱剣道部 ⑲/スケートボール部
⑳バレーボール部 ㉑少林寺拳法部
㉒ダンス部(小学生のみ) ㉓陸上競技部

*小学5・6年生と中学生が対象です。
*運動部は運動ができる服装でお越しください。
(例:野球は長ズボン) 授業後の着替え場所はあります。
*道具類=野球部は帽子・グローブ・スパイク・ユニフォームもあればご持参ください。
車庫・バスケットボール・バレーボール・ダンスは、体育館シューズをご持参ください。
テニス・卓球はラケット、サッポーカーはスパイク、剣道は剣道具等をお持ちでしたらご持参ください。
普通は道具一式・紙をご持参ください。
*屋外スポーツは雨天の場合実施できないことがあります。また、上記以外の部活動は都合により出来ません。

【中学生対象】

教 科	内 容「タイトル」	対 象
K 国 語	オチは!? 結末は!?〜ショートショートの世界へ〜	中学生
L 地 歴	こんなとき、あなたならどうする?〜無意識の反応の謎に迫る〜	
M 数 学	一筆書きの美学	
N 生 物	解剖教室2018〜魚は何を食べる〜	
O 化 学	LEDを使って太陽光発電〜100均電卓をソーラー電卓に〜	
P 英 語	Talk and Talk	

*教科によっては定員に限りがあります。先着順で定員になり次第、第2希望とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

貸借対照表

平成30年3月31日

資産の部		負債の部	
科 目	本年度末	科 目	本年度末
固定資産	2,333,382,044	固定負債	615,961,325
有形固定資産	2,219,935,454	流動負債	216,276,857
特定資産	113,000,000	負債の部合計	832,238,182
その他の固定資産	446,590	純資産の部	
流動資産	87,736,385	科 目	本年度末
資産の部合計	2,421,118,429	基本金	3,417,742,692
		繰越収支差額	△ 1,828,862,445
		純資産の部合計	1,588,880,247
		負債及び純資産の部合計	2,421,118,429

平成29年度 収支決算

金光学園やつなみ保護者会

I. 一般会計

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 会 費	5,459,400	5,451,850	7,550	月額 P@350、 T@400
2 繰越金	1,306,862	1,306,862	0	
3 寄付金	20,000	20,000	0	大祭直会
4 雑収入	140,000	48,274	91,726	預金利息、笠岡補導センター補助、他
合 計	6,926,262	6,826,986	99,276	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 指導部費	605,000	544,864	60,136	
A 地区会費	400,000	341,864	58,136	27地区
B 生活指導費	5,000	3,000	2,000	広域補導
C 通信連絡費	200,000	200,000	0	家庭連絡電話料
2 教養部費	3,575,000	3,523,200	51,800	
A 機関誌費	2,800,000	2,734,560	65,440	やつなみ248号～250号
B 教養費	775,000	788,640	△ 13,640	
(1) 研修費	400,000	431,460	△ 31,460	総会講演・研修旅行、他
(2) 教養費	255,000	237,180	17,820	教養シリーズ
(3) 講習会費	120,000	120,000	0	やつなみサークル補助
3 庶務部費	2,265,400	1,734,476	530,924	
A 負担金	430,000	368,970	61,030	私中高父母の会負担金、他
B 名簿刊行費	275,400	257,040	18,360	学園名簿
C 慶弔費	500,000	412,800	87,200	卒業式、弔慰、饞別
D 会議費	210,000	144,981	65,019	総会、評議員会、役員会、食堂試食
E 旅費	150,000	87,110	62,890	私中高P連絡会、大祭湯茶接待、他
F 事務費	150,000	60,700	89,300	諸消耗品代等
G 特別委員会費	450,000	342,584	107,416	全国・中国地区私中高父母の会等
H 雑費	100,000	60,291	39,709	文化祭プログラム、ポスター、他
4 予備費	480,862	0	480,862	
合 計	6,926,262	5,802,540	1,123,722	

1. 一般会計収支

収入総額	6,826,986
支出総額	5,802,540
差引剰余金	1,024,446

◎剰余金処分 一般会計剰余金1,024,446円は、次年度一般会計に繰り越す。

平成29年度決算の概要

学校法人金光学園

平成29年度の決算が、5月31日に開かれた法人評議員会ならびに理事会で承認されました。
学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す「資金収支計算書」、経営状態を示す「事業活動収支計算書」、財産状態を示す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4号に定められた規則に基づき作成したものが、以下の「財務三表」です。

資金収支計算書

収入の部		支出の部	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
学生生徒等納付金収入	562,368,850	人件費支出	877,771,133
手数料収入	4,114,200	教育研究経費支出	87,547,725
寄付金収入	46,836,946	管理経費支出	52,073,984
補助金収入	444,899,716	借入金等利息支出	3,370,866
付随事業・収益事業収入	1,325,305	借入金等返済支出	338,980,000
受取利息・配当金収入	636,202	施設関係支出	26,860,000
雑収入	10,040,126	設備関係支出	17,737,582
借入金等収入	350,000,000	資産運用支出	52,678,740
前受金収入	39,640,000	その他の支出	56,300,323
その他の収入	85,020,619	資金支出調整勘定	△ 7,204,307
資金収入調整勘定	△ 51,399,336	翌年度繰越支払資金	39,635,633
前年度繰越支払資金	52,269,051		
収入の部合計	1,545,751,679	支出の部合計	1,545,751,679

事業活動収支計算書

(単位：円)

科 目		決 算 額	科 目	決 算 額
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	562,368,850	人件費	888,830,573
	手数料	4,114,200	退職給与引当金繰入額	13,599,576
	証明手数料	466,200	教育研究経費	163,559,168
	寄付金	47,235,082	報酬・委託・手数料	14,532,286
	経常費等補助金	444,551,716	管理経費	54,331,390
	付随事業収入	1,325,305	旅費交通費	179,440
	雑収入	10,378,661	渉外費	2,028,055
			報酬・委託・手数料	16,300,545
	教育活動収入計	1,069,973,814	教育活動支出計	1,106,721,131
	教育活動収支差額			△ 36,747,317
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	636,202	借入金等利息	3,370,866
	第3号基本金引当資産運用収入	633,801		
	教育活動外収入計	636,202	教育活動外支出計	3,370,866
教育活動外収支差額			△ 2,734,664	
経常収支差額				△ 39,481,981
特別収支	その他の特別収入	414,465	資産処分差額	997,276
	特別収入計	414,465	特別支出計	997,276
特別収支差額				△ 582,811
〔予 備 費〕				
基本金組入前当年度収支差額				△ 40,064,792
基本金組入額合計				△ 57,200,250
当年度収支差額				△ 97,265,042
前年度繰越収支差額				△ 1,731,597,403
翌年度繰越収支差額				△ 1,828,862,445
(参考)				
事業活動収入計				1,071,024,481
事業活動支出計				1,111,089,273

支出の部

科 目	H30予算額	H29予算額	H29決算額	摘 要
1 指導部費	605,000	605,000	544,864	
A 地区会費	400,000	400,000	341,864	24地区
B 生活指導費	5,000	5,000	3,000	広域補導
C 通信連絡費	200,000	200,000	200,000	家庭連絡電話料
2 教養部費	3,545,000	3,575,000	3,523,200	
A 機関誌費	2,800,000	2,800,000	2,734,560	やつなみ251号～253号
B 教養費	745,000	775,000	788,640	
(1) 研修費	400,000	400,000	431,460	総会講演、研修旅行、他
(2) 教養費	255,000	255,000	237,180	教養シリーズ
(3) 講習会費	90,000	120,000	120,000	やつなみサークル補助
3 庶務部費	2,035,400	2,265,400	1,734,476	
A 負担金	430,000	430,000	368,970	私中高父母の会負担金、他
B 名簿刊行費	275,400	275,400	257,040	学園名簿
C 慶弔費	500,000	500,000	412,800	卒業式、弔慰、饗別
D 会議費	180,000	210,000	144,981	総会、評議員会、役員会、食堂試食
E 旅費	100,000	150,000	87,110	私中高P連総会、大祭湯茶接待、他
F 事務費	100,000	150,000	60,700	諸消耗品代等
G 特別委員会費	400,000	450,000	342,584	全国・中国地区私中高父母の会等
H 雑費	50,000	100,000	60,291	標語パネル協賛金、振込手数料他
4 予備費	398,886	480,862	0	
合 計	6,584,286	6,926,262	5,802,540	

Ⅱ. 特別会計

収入の部 (単位：円)

科 目	H30予算額	H29予算額	H29決算額	摘 要
1 特別会費	8,064,960	9,087,000	9,065,550	月額 @620
2 繰越金	1,376,984	2,042,994	2,042,994	
3 雑収入	0	0	0	
合 計	9,441,944	11,129,994	11,108,544	

支出の部

科 目	H30予算額	H29予算額	H29決算額	摘 要
1 教育後援費	9,441,944	11,129,994	9,731,560	スポーツ振興センター共済掛金、生徒用コピー機、生徒会派遣費補助、事業積立金会計への積立等

《教育後援費の内訳》

①日本スポーツ振興センター共済掛金	1,120,000円
②高P連賠償責任補償制度加入掛金	440,000円
③私学ボランティア基金	25,000円
④生徒用コピー機(高図書室)リース料12か月	110,000円
⑤メールメイトシステム利用料(31年度分)	140,000円
⑥生徒会派遣費補助	6,500,000円
⑦事業積立会計へ	1,000,000円
⑧予備費	106,944円
	9,441,944円

Ⅲ. 事業積立会計

収入の部 (単位：円)

科 目	H30予算額	H29予算額	H29決算額	摘 要
1 積立金	1,000,000	2,500,000	1,000,000	特別会計より
2 繰越金	1,000,000	0	0	
合 計	2,000,000	2,500,000	1,000,000	

Ⅱ. 特別会計

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 特別会費	9,087,000	9,065,550	21,450	月額 P@650
2 繰越金	2,042,994	2,042,994	0	
3 雑収入	0	0	0	
合 計	11,129,994	11,108,544	21,450	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 教育後援費	11,129,994	9,731,560	1,398,434	スポーツ振興センター共済掛金、生徒用コピー機、生徒会派遣費補助等

《教育後援費の内訳》

①日本スポーツ振興センター共済掛金	1,181,530円
②高P連賠償責任補償制度加入掛金	466,000円
③私学ボランティア基金会費	12,840円
④私学ボランティア基金特別会費	10,000円
⑤高校図書室コインコピー機リース料(旧)	12,312円
⑥高校図書室コインコピー機リース料(新)	17,496円
⑦メールメイトシステム利用料(30年度分)	136,080円
⑧生徒会派遣費補助	6,895,302円
⑨事業積立会計へ	1,000,000円
	9,731,560円

2. 特別会計収支

収入総額	11,108,544円
支出総額	9,731,560円
差引剰余金	1,376,984円

◎剰余金処分 特別会計剰余金1,376,984円は、次年度特別会計に繰り越す。

Ⅲ. 事業積立会計

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 積立金	2,500,000	1,000,000	1,500,000	教育後援費より
2 繰越金	0	0	0	
合 計	2,500,000	1,000,000	1,500,000	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 事業費	0	0	0	

3. 事業積立会計収支

収入総額	1,000,000円
支出総額	0円
差引剰余金	1,000,000円

◎剰余金処分 事業積立会計剰余金1,000,000円は、次年度事業積立会計に繰り越す。

平成30年度 予算

金光学園やつなみ保護者会

Ⅰ. 一般会計

収入の部 (単位：円)

科 目	H30予算額	H29予算額	H29決算額	摘 要
1 会 費	5,499,840	5,459,400	5,451,850	月額 P@380、 T@400
2 繰越金	1,024,446	1,306,862	1,306,862	
3 寄付金	20,000	20,000	20,000	大祭直会
4 雑収入	40,000	140,000	48,274	預金利息、笠岡補導センター補助、他
合 計	6,584,286	6,926,262	6,826,986	

生徒会活動

《高校生徒会》

4月14日(土)、生徒会役員選挙が行われ、生徒会長に2年4組の井上颯くんが選出され、副会長に2年6組の山本幸歩さん、2年7組の辻川祐太朗くんがそれぞれ承認された。4月20日(金)には、晴天の下、高校3年生、2年生の春季球技大会が開催された。ソフトボール、ドッジボール、フットサル、テニスボールの4種目でそれぞれ熱戦が繰り広げられ、3年7組、2年2組が総合優勝を果たした。

5月25日(金)、第一回生徒会総会が行われた。今年度の基本方針や予算について審議され、すべて原案通りに承認された。運営は円滑に進み、舞台上で発言した執行部、各種専門委員長、学年代表者会議議長らはいずれも堂々とした態度で発表を行った。その他、9月に開催されるほつま祭や体育会に向けて、各クラスや実行委員会等で着々と準備が始まっている。

い、アメリカ演奏訪問に際し、C. ブッカー Jr 氏が作曲された Arkansas Band Masters Association 及び金光学園音楽部吹奏楽団委嘱作品である「吹奏楽のための・コラーージュ」をはじめ、「友」[ハリウッド万歳]「Were All In This Together」等、17曲を演奏した。6月1日(金)は120記念館大講義室にて台湾高校生訪問団への歓迎演奏を行い、「シロクマ」を演奏した。6月3日(日)は倉敷市民会館にて行われた吹奏楽祭で「Strange Humors」を演奏した。6月9日(土)の金光ミュージックフェスタでは「Golden Light March」[ふんやう]等、6曲を演奏した。

《音楽部コーラス》

3月25日(日)～26日(月)に京都府城陽市で合宿をした。初日は音楽家の田末勝志先生に指導していただき、夜は交流のある西城陽高校合唱部の定期演奏会でたくさんの刺激をもらった。2日目は西城陽高校合唱部指揮者の塩川朝子先生に来ていただき、指導をしていただいた。3月27日(火)に訪問演奏を敬心かもがた保育園でさせていただいた。子供たちになじみのある歌に部員が考えた劇な

《新聞部》

新たに新入部員4名が入部し、中高合わせて14名となった。5月に教育実習生紹介号を発行した。

《天文学部》

中学1年生1名を加えて、部員37名で活動している。今年度も毎週金曜日を中心に活動している。夜間観測できれいな天体写真を撮るために、望遠鏡やカメラの使い方を練習している。

4月、夜間観測を行い、木星の観測・写真撮影を行った。高校生の新入部員にとっては初めての観測であったが、望遠鏡の基本操作やカメラの使い方を学んだ。

5月6日、夜間観測を行い、惑星や星団・星雲の観測・写真撮影を行った。

高3上川滉太君が、5月13日～18日にアメリカ合衆国ペンシルベニア州ピッツバーグで行われた「インテル国際科学技術フェア(Intel ISEF 2018)」に出場し、Grand Award(優秀賞) Fourth Place Award(4等賞)を受賞した。

《茶道部》

3月25日(日)に玉島市民交流センターで玉島高校茶道部と合同で「交流ひな茶

ど楽しい時間を過ごしたあと、子供たちと外で自由遊びをして交流深めることができた。

3月28日(水)に岡山城東高校で岡山県合唱講習会があった。「土の歌」の音取りと合わせをすることができた。

4月15日(日)に金光公民館でたんぼぼまつりが開催された。午前中はテントの設営など準備から手伝いをした。映画鑑賞をしたあと、午後からステージ発表となった。

5月3日(木)に合同練習会が倉敷市民会館で行われた。たくさんの高校生が集まり「土の歌」を練習。とても充実した時間となった。

6月9日(土)に岡山県合唱祭が開催された。午前中は「土の歌」の合同練習。午後から合唱祭となった。ダンスも含めて楽しいステージにすることができた。【曲目】スキップルシャンクス 生命の奇跡 Circle of life

6月17日(日)に岡山県合唱連盟70周年記念演奏会が岡山シンフォニーホールで開催された。高校生は200名を超える大編成で「土の歌」から5曲を歌った。少ない練習ではあったがとても感動的な

会」を行った。緊張しながらも日頃の練習の成果を発揮した。また、玉島高校の生徒とよい交流もできた。5月には2人の中1新入部員が加わり、熱心に活動している。

《書道部》

第167回県下小・中学校習字展覧会において、中2赤沢梨吏が岡山旭ライオンズクラブ賞を受賞。第36回ふれあい書道展において、中1山田紋歌が特選を受賞。

《音楽部吹奏楽団》

3月22日(木)はいるかの家にて訪問演奏を行い、「糸」「365日の紙飛行機」など11曲を演奏した。4月4日(水)はグランドガーデン南町にて訪問演奏を行い、「ピリッパ」「リンゴの歌」など11曲を演奏した。4月9日(月)は入学式にて、「君が代」「学園歌」「Every thing for a dream」「GUTS」「G線上のアリア」を演奏した。4月15日(日)はたんぼぼまつりにて「Golden Light March」[かっぱれスペシャル]などを演奏した。4月28日(土)のやつなみ保護者会総会では「糸」「DEEP PURPLE MEDLEY」などを演奏した。4月30日(月)は倉敷市民会館にて第46回定期演奏会を行

素晴らしい演奏となった。

《写真部》

新入部員4名を迎え、ほつま祭に向けて活動中。5月下旬には、校内で撮影散策を実施。

《中学放送部》

3月におこなわれたゆずり葉の会では、音響や司会を担当し、スムーズな会の運営に貢献した。4月に行われた新入生歓迎会でも音響・司会を担当した。

6月にはNHK杯全国中学校放送コンテストの岡山県予選会に、中3の中藤涼果が参加した。

また、学校案内用のCMを制作した。

《高放送部》

高校1年生2人に加え、現在9名で活動している。4月15日(日)、市民会館金光で開催された第21回たんぼぼまつりに参加し司会・音響係として活躍した。さらに6月10日(日)に第55回岡山県高等学校放送コンテスト兼第65回NHK杯全国高校放送コンテスト岡山県予選の決勝大会が就実高等学校で開催された。朗読部門に高校1年阿部七菜子が、アナウンス部門に高校3年岡本圭織が出場した。

《囲碁将棋部》

中1・中2を中心に部員が増えて、A校舎部室で毎日活動している。

《美術部》

中学美術部員は1年生が11人入り2年生が3人、3年生が5人の合わせて19人の部員数で活動しています。現在、ほつま祭に向けてランプシールドと個人作品を製作中です。

高校美術部は、5月26日に高校生美術コンクールが倉敷芸術科学大学で行われ、学園から高校3年生が1名参加した。部活はほつま祭に向けて活動している。

《文芸部》

部員4名で今年度の活動をスタートした。毎月1回の月例集制作を中心に執筆活動を行っている。5月号「薫風のしらせ」6月号「一葉の思ひ出」7月号「青空を掴む」を制作し、それぞれ批評会を行った。これらの作品は中高の図書室で配布しているので、皆さんに読んでいただきたい。

《英語部》

原則毎週月曜と木曜の放課後を活動日として、英語を使って活動をした。ディクテーションや発音練習をしながら音変

化のルールを学び、基礎トレーニングを繰り返している。また、速読教材を読んでも、要約や自分の意見を言うこと、英語を読むこと、話すことにも積極的に取り組んだ。ペン先生とのフリートークも楽しんでおり、英語で話す機会を増やし、自然な英会話ができるような時間を持った。昼休みのミーティングでは、校外ス

ピーチコンテストやディベート合宿・大会の案内などを紹介し、それぞれの目標を設定し、そのコンテスト等への参加に向けて準備を進めた。

《電気科学部》

中高とも新入生が入部し、9月の仁科ロボコン、中学生は11月の創造アイデアロボットコンテストを考え、ロボットを考え、製作しています。

《木綿崎ボランテニア部》

高校生11名で活動している。4月15日、たんぼ祭りのボランテニアスタッフとして参加した。5月26日、里見川清掃活動を実施した。

《生物部》

中学1年生5名が入部。火曜、金曜、土曜に里見川、遥照山の調査を行っている。里見川では、傷を負ったウナギを見

つけ部室で飼育観察している。随分傷も治ってきて部員一同喜んでいる。

《ダンス部》

6月17日に、イオンモール岡山の未来ホールにて行われた、『おかやま教育FESTA』にて、部員全員でダンスを披露し、会場を盛り上げた。

《陸上競技部》

U20アジアジュニアが岐阜で開催され、山下朋紀が日本代表選手として10種競技に参加し、日本高校歴代4位の記録で5位に入賞した。

岡山県高等学校総合体育大会が開催され、土屋健太郎がやり投で優勝。眞田明日香が砲丸投で3位。上川滉太・清水美沙が5000m競歩で3位。塚本航平が400mで4位、200mで7位。谷野光琉が三段跳で4位。大島徹也がやり投で4位。六原侑哉が走幅跳で6位三段跳で7位。眞清晋吾、塚本航平、田所聖梧、山下朋紀が1600mリレーで6位。谷本きなりが100mで7位、200mで8位。仁平優宙が走幅跳・110mハードルで8位。吉實沙希がやり投で8位に入賞した。

中国高校陸上が開催され、山下朋紀が8種競技と110mハードルで優勝。眞田明

日香が砲丸投で2位。土屋健太郎がやり投で2位。上川滉太が5000m競歩で5位。谷野光琉が三段跳で7位に入賞した。

岡山県中学校陸上競技選手権が開催され、安福柘汰が110mハードルで2位、100mで5位。西森翔真が走幅跳で4位に入賞した。

岡山県中学校混成記録会が開催され、安福柘汰が4種競技で2位。西森翔真が走幅跳で3位。荒川歩夢が走幅跳で4位に入賞した。

《ラグビー部》

4月15日(日)、21日(土)に美作ラグビー場で行われた中国高等学校ラグビーフットボール大会岡山県予選会に岡山一宮、鴨方との合同チームで参加した。1回戦は合同B(岡山城東、津山高専、林野)に0-54で敗れ、2回戦は合同A(岡山朝日、高松農業、創志学園)に7-60で敗れた。4月28日(土)、水島緑地福田公園で備中支部総体7人制の部に参加し、鴨方合同に14-19、倉敷工業に0-53、玉島に7-45で敗れた。5月3日(木)、4日(金)には美作ラグビー場で行われた強化練習会に参加し、

数々の試合を通して技術・体力の向上に努めた。6月2日(土)、3日(日)には岡山県総合体育大会15人制の部が、9日(土)には同7人制の部が美作ラグビー場で開催された。15人制の部はCブロックに鴨方との合同チームで参加し、初日は合同A(岡山朝日・岡山一宮・岡山城東)に33-0で勝利し、合同C(津山高専・林野)に7-21で敗れた。2日目は合同Aに12-17で惜敗、合同Cに7-31で敗れた。7人制の部は1回戦で創志学園に12-26で敗れた。

《中学男子ソフトテニス》

5月には3名の新入部員を迎え、計35名で今年度の活動がスタートした。5月3日に福山テニスセンターで行われた第12回びんごふくやま中学生ソフトテニス交歓大会に4チームが出場し、Bチームがベスト16に入った。5月5日に井原運動公園庭球場で行われた第31回井原市中学生ソフトテニス大会に3ペアが出場し、綱川・西山、飯山・小林ペアが初戦敗退、村上・中村ペアが3回戦敗退であった。5月26日に福山市竹ヶ端運動公園テニスコートで行われた第33回福山市中学生ソフトテニス交歓大会(個人の部)に

10ペアが出場し、秋本・中村ペアがベスト16、綱川・小野ペアがベスト8に入り、村上・小林ペアが準優勝を果たした。

《高男子ソフトテニス部》

4月21日(土)、岡山県春季高等学校ソフトテニス選手権大会が水島緑地福田公園テニスコートでおこなわれ、3ペアが出場したがすべて1回戦で敗退した。

4月28日(土)には全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会(個人)の備西地区予選会が笠岡総合スポーツ公園テニスコートでおこなわれた。5ペアが出場したが、すべて4回戦までに敗退し県大会への出場権の獲得はならなかった。また5月3日(木)には同じく笠岡総合スポーツ公園テニスコートにて備西地区高等学校対抗ソフトテニス大会がおこなわれた。各校のAチームが出場する1部トーナメントでは、1回戦で笠岡商業高校に1対2で敗れ、ベスト4入賞はならなかった。Bチームが出場する2部トーナメントでは、1回戦で岡山龍谷高校に3対0で勝利したが、準決勝で笠岡商業高校に0対3で敗れ、第3位となった。

そして6月2日(土)、全日本・中国

高等学校ソフトテニス選手権大会（団体）の岡山県予選会が水島緑地福田公園テニスコートでおこなわれたが、1回戦で第8シードの高梁城南高校に0対3で敗れ、初戦で敗退した。

《高女子ソフトテニス部》

5名の新人部員を迎え、計10名で今年度の活動がスタートした。

4月21日・22日に倉敷運動公園テニスコート及び福田公園テニスコートで行われた春季高校選手権《個人》に3ペア出場し、2回戦までに敗退。4月28日に笠岡総合スポーツ公園テニスコートで行われたインターハイ・中国大会備西地区予選《個人》に4ペアが会場し、塚岡・向ベアがベスト4、萬木・安部ペアがベスト8で県大会出場権を獲得。5月3日に同会場で行われた備西地区総体（ソフトテニス競技《団体》）では、2回戦は笠岡Aに準決勝で笠岡商業に勝利し、決勝では玉島に勝利し優勝した。6月3日に福田公園テニスコートで行われたインターハイ・中国大会岡山県予選《団体》では、1回戦で倉敷翠松に勝利したものの、2回戦で高松農業に敗れた。6月9日に浦安総合公園テニスコートで行われ

たインターハイ・中国大会岡山県予選《個人》に備西地区予選を突破した2ペアが会場し、2回戦までに敗退。この段階で3年生2名は引退し、新チームがスタート。6月23日に浦安総合公園テニスコートで行われた国体1次予選に2ペア出場し、2回戦までに敗退。

《中学卓球部》

3月21日に笠岡市卓球選手権（団体の部）に参加した。男子団体がAチームがばらの町卓球に0-3で敗れベスト16であった。

4月8日チェリリーカップオープンに参加した。男子団体がAチームが決勝トナメント1回戦で井原に1-2で敗れた。

4月30日に第9回はぶ杯卓球大会に参加した。男子個人Aクラスで東（L3）がベスト8、原田（L3）がベスト16に入った。Bクラスで高戸（L3）が優勝、島村（L3）が準優勝、関藤（L3）が第3位に入った。

5月3、4日に岡山近府県卓球選手権に参加した。男子団体では予選リーグで京山に3-0で勝ち、鳥取県選抜に0-3で敗れ、2位トーナメントで桑田に3

1-1、灘崎に3-0、倉敷福田に3-1で勝ち、準決勝で伊丹西に0-3で敗れた。

5月3日に福山市中学生以下オープン卓球選手権大会に参加した。男子個人で島村がベスト8、高戸がベスト16に入った。

5月6日に井原競技力別卓球大会に参加した。男子団体ではAチームが1部でベスト8、

Bチームが2部で準優勝、Cチームが2部でベスト8であった。男子ダブルスでは北村（L3）・東組が1部でベスト16、関藤・高戸組が2部で準優勝、内海（L3）・瀬良（L3）組がベスト8、島村・長谷（L3）組がベスト16に入った。

6月9日に備西支部シード決め大会に出場した。男子個人で北村と島村がベスト4、関藤がベスト8、高田（L3）と東がベスト16に入った。

《中学サッカー部》

5月3日、4日に開催された倉敷招待サッカー大会では、対笠岡東（1-1引き分け）、対庄（1-3負け）、対アクト（9-2勝ち）、対牛窓（0-1負け）、対真備（5-0勝ち）、対県操山（4-

0勝ち）という結果であった。2日間で6試合というかなりハードな大会ではあったが、貴重な経験となった。6月9日、10日に開催された浅口地区交流サッカーリーグでは、対鴨方（0-6負け）、対寄島（2-1勝ち）、対笠岡西（0-0引き分け）、対矢掛（1-6負け）という結果であった。1勝2敗1分けのグループリーグ3位で残念ながらシード権獲得は出来なかった。この大会は昨年度までの支部大会（シード決め大会）である。次の地区大会に向けてさらに頑張っていきたい。

《高校サッカー部》

3月7日に練習試合を行った。対アクト（30×4）（7-2）。3月17日～19日に、第8回浅口カップ大会に参加し、運営も行った。東は三重県、西は鹿児島から、計70チーム以上の参加があった。対玉野（1-3）、対天城（1-2）、対興国（4-0）、津山工業（2-1）、大阪借星（6-0）、廣学館B（0-5）、廣学館A（2-3）。3月29日、30日は、合宿を行い、美作スプリングフェスティバルに参加した。対加古川北A（0-2）、対松江農林A（1-5）、対神戸葺

合（0-3）、対松江工業B（2-1）、対松江工業A（3-1）。3月31日、4月1日には普通科カップに参加した。対総社南（2-1）、対古城池（1-2）、対総社（1-5）、対青陵（1-3）。4月8日に練習試合を行った。対高梁（6-1）。5月12日・13日に行われた備中

支部総体（備西地区の部）では、一次リーグで、対おかやま山陽（0-1）、対井原（3-0）。1位トーナメントで、対笠岡（0-0、PK負け）、対龍谷（2-2、PK負け）。高田宮杯U-18サッカー

リーグ2018OKAYAMAチャレンジリーグ1部では、4月30日、対天城（5-0）、5月3日、対西大寺（2-5）、5月4日、対笠岡（4-3）という途中結果である。4月29日、県総体備中地区予選は、対玉島商業（2-0）で勝利し、県大会出場が決定した。5月27日、県大会1回戦、対津山工業（1-1、0-0、PK勝ち）。2回戦で玉野光南に敗れはしたものの、ベスト16という快挙を成し遂げた。

《中学野球部》

4月28日～30日にどんぐり球場などで行われた第13回笠岡東ライオンズクラブ杯では、1回戦は寄島中学校に16-0で

勝利し、2回戦は金光中学校に3-4で敗れた。

6月9日、10日に芳井球場などで行われたシード決め大会では、1回戦は美星中学校に9-2で勝利し、決定戦は新吉中学校に1-0で勝利しシードを獲得した。

《高校野球部》

平成30年度春季岡山県高等学校野球大会西部地区予選で3月31日倉敷南高校に4対1で勝利し、4月1日倉敷天城高校に9対8で勝利し、県大会出場の権利を得ました。

4月21日に春季県大会1回戦が行われ、岡山県作陽高校に1対2で敗れました。

《柔道部》

3月27日にマエダハウジング東区スポーツセンターで行われた西日本高等学校柔道錬成大会に参加した。

4月21、22日に岡山武道館で行われた第65回中国高等学校柔道大会岡山県予選会に出場した。男子団体は予選リーグで勝間田高校に勝利したが、続く倉敷工業高校に敗れ予選リーグ敗退であった。女子団体戦は1回戦で岡山理科大学附属高

校に敗れた。

6月2、3日に岡山武道館で行われたインターハイ予選に出場した。男子団体戦は1回戦で水島工業高校に勝利したが、続く2回戦で作陽高校に敗れた。女子団体戦は1回戦で岡山南高校に敗れた。

6月6日に本校柔道場で高3追出試合を行い、高3の十倉拓哉、虫明春哉、橘高光哉が在校生部員全員と試合を行った。

《中剣道部》

《第25回ワコースポーツ・文化振興財団杯剣道大会》3月11日(日)、笠岡小学校体育館で開催され、浅野優斗が2回戦、田中康介(ともに当時1年)が3回戦敗退。新谷理駆(当時3年)が準決勝で敗れ、第3位であった。

《段級審査会》3月18日(日)福山市立体育館サブアリーナで開催され、小林芳樹(当時1年)が初段に合格。

《高剣道部》

《段級審査会》3月25日(日)総社武道館で開催され、池田弦輝(当時2年)が参段に合格。

《国体予選会》4月15日(日)、ジップ

アリーナ岡山で開催され、新谷理駆(1年)が1回戦敗退。長谷川大輝、日名啓介(ともに3年)、市川真広(2年)が2回戦敗退。池田、石原遼大(ともに3年)が3回戦敗退であった。

《中国大会予選会》4月21日(土) 22日(日)、笠岡総合体育館で開催され、市川、日名が1回戦敗退。池田が2回戦、石原が3回戦敗退であった。団体試合は2回戦で美作高校に0対3で敗れる。

《備中支部大会》5月12日(土)、県立倉敷商業高校体育館で開催され、2回戦で倉敷商業高校に1対3で負け。敗者戦は3校リーグで、倉敷工業高校に4対1、笠岡高校に2(5)対2(4)と連勝し、県総体の出場権を得る。

《県高校総体》6月2日(土) 3日(日)、和気町総合体育館で開催され、市川が1回戦、新谷が2回戦敗退であった。団体試合は1回戦で水島工業高校に0対5で敗れる。

《中男子バスケットボール部》

4月29・30日に金光学園と笠岡市民体育センターにて、県内外から12チームが集まり、第4回やつなみカップを開催した。1日目は、向丘中に勝利するも、広

中央・愛媛勝山中に敗れ、2日目の3・4位トーナメントに入る。2日目は、芳泉中に勝利し、今治西中に敗れた。今大会は、優勝が古田中学校・準優勝が愛媛勝山中となった。

5月3・5日に、広島市内を中心に男子32チームが参加する第14回PEACE CUPに参加した。1日目国泰寺中・白岳中に勝利し、2日目には、阿品台中・段原中に勝利し、最終日のファイナル8に進出した。3日目は、トーナメント1回戦で、湖東中に接戦の末、敗れた。

6月2・3日に津山市内を中心に男子29チームが参加した第4回津山テント杯に出場した。1日目は、岡山中央中・赤穂中に勝利するも浜田第二中に敗れた。翌日の決勝トーナメントでは、徳島城西中・広島高屋中に勝利し、決勝戦で再度、浜田第二中と対戦した。接戦の末、敗れはしたが、今大会を準優勝で終えることができた。

6月9日に行われた支部合同練習会では、地区内全チームとハーフゲームで対戦し、全勝で地区大会での第1シードを得ることができた。

新1年生も7人が入部し、夏の大会に

向けて、日々頑張っている。

また、3月末に行われた『第31回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会2018』に3年富田直斗君が岡山県選抜チームの一員として出場し、3日間の大会を全勝で終え、岡山県チームの日本一に貢献した。

《中学女子バスケットボール部》

今年、沢山の新人部員も加入し(1年生13名)、現在2年生7名、3年生9名の総勢29名で、県大会出場を目指して頑張っています。

《高校男子バスケットボール部》

4月14・15日に行われた第71回岡山県高等学校バスケットボール春季優勝大会備中地区予選会に参加した。1回戦、笠岡工業高校に78―31で勝ったが、2回戦、総社南高校に55―64で敗れた。

5月3・4日に行われた、平成30年度備中支部総合体育大会バスケットボール競技の部に参加した。1回戦、おかもや山陽高校に78―40、2回戦、玉島商業高校に49―46で勝ち、ブロック決勝戦に進んだ。決勝戦は倉敷天城高校と対戦し、65―56で勝ち、県大会の出場権を得た。

6月8日に行われた、第57回岡山県高

等学校総合体育大会に参加した。1回戦、岡山東商業高校と対戦し、40―77で敗れ、県ベスト24であった。

《高女子バスケットボール部》

4月14日(土)・15日(日)に、第71回岡山県高等学校バスケットボール春季優勝大会備中地区予選会が行われ、第五試合、倉敷鷺羽高校に24―57で勝ち、ブロック決勝で倉敷中央高校に84―45で負けた。5月4日(金)に行われた第57回岡山県高等学校総合体育大会バスケットボール部予選会が行われ、新見高校に86―76で勝ち、県総体岡山県予選会出場を決めた。6月8日(金)に行われた県大会で津山東高校に43―81で負けた。

《中学男子バレーボール部》

平成30年度前半の戦績

2月に広島県で行われた中国新人大会ではベスト8という結果となった。3月に行われた岡山県春の中学校バレーボール選手権大会では優勝した。

夏の全国大会(島根)目指して、6月から支部大会が開催され、優勝。目標に向けて、これからも皆さんのおかげをいただきながら、日々精進したいと思います。

《少林寺拳法部》

3月24・26日に香川県坂出市において開催された全国高校選抜大会に出場した。男子自由単独演武の部に佐藤謙成(U3)が、女子規定単独演武の部に塚本陽依吏(U2)が出場したが、いずれも予選敗退に終わった。6月2日に東岡山工業高校で岡山県総体が行われ、男子単独演武の部で佐藤謙成(U3)が第1位、坂本莉来(U1)が第4位に、衛本廉温(U3)が第8位に、女子単独演武の部で森藤由衣(U3)が第3位に、米村咲南(U2)が第7位に、女子組演武の部で塩谷明美(U1)・難波朋楓(U1)が第4位に、能勢采奈(U1)・高橋南成子(U1)が第5位に、女子団体演武の部(森藤・米村・塚本・塩谷・難波・能勢・高橋・原田)が第1位に入賞した。6月3日に玉島武道館で岡山県中学生大会が行われ、男子単独演武の部で塩路雄也(L3)が第2位に、友田隼咲(L2)が第5位に、田淵春成(L2)が第7位に、甲田大礎(L1)が第10位に、女子単独演武の部で山田優衣(L3)が第8位に、女子組演武の部で虫明紗桜里(L3)・難波日奈子(L3)が第2位に入賞した。

《花道同好会》

毎週水曜日に宗教教室で兼信先生の指導の下、熱心に稽古した。

《家庭科同好会》

部員2名。ほつま祭に展示での参加を目指しています。

《かるた同好会》

週2〜3回、宗教教室で競技かるたの練習を行っている。5月7日に早島町コミュニティハウスいぶき荘の和室にて、第42回全国高等学校総合文化祭「小倉百人一首かるた部門」岡山県代表選考会が開催され、高3の南花怜・黒川莉沙、高1の橋本花穂・土橋果歩・川上裕加・草加真希・藤井みなみ・松田小雪の8名が出場した。全員1回戦で敗退したが、その後の交流試合3試合で南・橋本が2勝、黒川・土橋が1勝した。5月27日に早島町コミュニティハウスいぶき荘の和室にて、第40回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会団体戦岡山県予選が開催され、高3の南花怜・黒川莉沙、高1の橋本花穂・川上裕加・松田小雪の5名が初めて団体戦に出場した。1回戦で倉敷青陵Aチームと対戦して敗退した。その後、交流試合を3試合行い、倉敷青陵B

チームと倉敷青陵Cチームに完敗であったが、倉敷翠松に僅差で勝利した。

《バドミントン同好会》

新入生16名を迎え、総勢26名で、毎週火曜日に爽やかな汗を流している。希望者は、夜に行われる地域の方とのバドミントンクラブにも参加し、実力をつけている。

《その他の部活動》

5月26日(土)に東京武道館で行われた第56回全日本合気道演武大会において、高2遠藤稔文が県下門下生の代表として出場しました。

5月12日(土)に総社市宮弓道場で行われた平成30年度岡山県備中支部高等学校弓道大会に、高1長谷川愛佳が出場しました。なおこの大会は、第57回岡山県高等学校総合体育大会弓道競技の部個人戦一次予選会と第63回全国高等学校弓道大会岡山県予選会個人戦一次予選会を兼ねています。

学園だより

イギリス短期語学研修・ニュージーランド現地校交流プログラム

3月18日〜4月2日、第7回イギリス語学研修および初となるニュージーランド現地校交流プログラムが実施された。両コースともに海外ならではの異文化交流を経験し、無事に帰国した。4月6日には本部参拝を行った。

出校日・大祭奉仕

4月6日、在校生は出校し、新クラス発表の後、教室移動を行った。中2は金光教本部に集合し、大祭奉仕を行った。

入学式

4月9日、中学は午前中に、高校は午後からほつま体育館で行い、それぞれ135名、195名(留学生含む)の新入生が希望に胸を膨らませて入学した。

留学生

AFS留学生として、フィンランドからサンニ・ツオミネンさんが来校した。高校1年に1年間滞在する。

始業式

4月10日、中高合同で1学期

始業式がほつま体育館で行われた。新任教員紹介の後、校長式辞、在校生を代表して高3の小出捷稀くんから歓迎の言葉、また新入生を代表して中1の藤澤奈未さんから挨拶がそれぞれあった。

◇新入生代表挨拶(中1 藤澤 奈未)

メタセコイアの若葉が生い茂る今日。春の訪れと共に、私たち中学校135名、高等学校195名は、伝統ある金光学園のページを開きました。

これから始まる学園生活は、希望と期待で満ち溢れています。時には、困難や大きな壁にはばまれることがあるかもしれませんが、しかし、私は、どんな時でも前を向き、探求することを止めることなく、歩んでいきます。

「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」この言葉を胸に、校長先生をはじめ、諸先生方、先輩方のご指導のもと、私たち、新入生一同は、共に助け合い、励まし合いながら、頑張りたいと思います。そして、歩ずつ学園生としての誇りと品格を備えていきます。

どうぞよろしくお願いたします。

新入生本部参拝

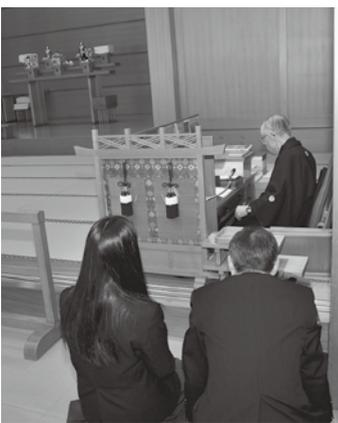
4月12日、晴天に恵

まれ中1と高1が金光教本部に参拝し、これからの学園生活の立ち行きをお願いした。その後、境内でクラス毎の記念写真を撮った。

◇お届け(高1 高橋 南成子)

4月9日に中学校新入生135名、高等学校新入生194名と留学生1名、合計330名は多くの方々の祝福を受け、金光学園に無事入学させて頂くことができました。どうぞ皆様にお礼を申し上げて下さい。

私たちは自らの意志で、勉学やスポーツに励むことを目的として金光学園に進学しました。それぞれの夢を実現させるために精進し、一日一日を大切に過して、充実した学園生活を送れるようにするこ



とを誓います。

この先、大きな壁にぶつかれることもあると思いますが、学園の合言葉「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」を心にとどめ、先生方、家族、友人など多くの人に支えて頂きながら、乗り越えていきたいと願っています。

また、4月20、21日には中1が校内で入校時合宿を行い、6月16日には高1がインテックス大阪で実施される夢ナビライブに参加します。全員が所期の目的を達成し、安全に過ごせるようよろしくお願います。

◇教主金光様のおこぼ

皆さん、おめでとうございます。今日も明日もあさっても、皆、今月今日になりませう。どうぞ、お世話になるすべてに礼をいう心をもって、今を大切に、今申されました願いに沿うて勉強を進められ、おかげを頂かれますよう、祈ってやみません。

なんでも相談室 毎週水曜日は午前11時から午後5時まで第1相談室で開設され、学校カウンセラーがカウンセリング・助言・支援を行っている。

街頭交通指導

4月6日から17日まで

教員が通学路に立ち、交通安全・交通マナーについての指導を行った。

検尿

4月12・13日に検尿を実施した。

沖縄修学旅行

4月16～19日、中3は

沖縄を訪れた。金光教那覇教会の林先生の講話や平和集会、折り鶴献納などを通じて平和について考えると同時に沖縄の歴史や自然についても学習した。昨年に引き続き民泊を行ったが、大変好評であった。

入校時合宿

4月20・21日、中1が入校時合宿を行い、校内に宿泊した。学園

歌コンクール、町内クリーンオリエンテーリングや夜の集い(集団ゲーム・キャンドルサービス)などを通じ、親睦を深め、集団生活の規律を学んだ。

人権教育

中1は4月24日に、いじめ・

携帯トラブルについてのDVDを視聴し、感想を書いた。5月8日には、その結果を通信にまとめたものを元にして、今何ができるかをクラスで話し合い「クラス人権宣言」と「わたしの行動宣言」を作成した。

親睦行事

4月25日、高1は名前ビン

ゴ、しっぽとりゲーム、クラス対抗ドッジボール大会を通して互いの親睦を深めた。

総合健康診断

中学は4月25日に、高校は26日に、身体測定と内科・歯科・視力・聴力(3年)の検診が行われた。

やつなみ保護者会総会

4月28日、1

限に授業参観、2限に学級会、3・4限に総会と講演が行われた。講演は静岡産業大学副学長、小澤治夫先生の「学力・体力・気力の向上は生活習慣の立て直しから」東大生・タレント・一流スポーツ選手に学ぶ」であった。

人権講演

5月2日、高3は元県立岡

山盲学校教頭の竹内昌彦先生による講演「私の歩んだ道」見えぬ涙ありのお話の「私」を聞き、笑いあり涙ありのお話の中から今後の人生への示唆を受けた。

心電図

5月1日に中1を、2日に高

1を対象に実施した。高1は胸部X線撮影も行った。

性教育

中3は5月8日と6月5日

に、男女交際や性感染症・避妊について学習した。また、中2の生徒は5月29日に、「セックス」「性感染症」についてのDVDを視聴し、感想文を書いた。

避難訓練

5月12日、全生徒・教職員

を対象に避難訓練を行った。探究講演会 5月15日、中3・保護者を

対象に、K. I. T. 虎ノ門大学院の三谷宏治先生に講演をしていただいた。

教育相談保護者会

5月19日、安原こ

ずえ先生を講師に迎え「不登校解決の三つのくすり」という演題で話をうかがい、教職員・保護者との交流が行われた。

教育実習

5月21日から6月16日まで

の期間 卒業生11名が2週間ないし3週間の実習を行った。

山の学習

5月22～24日、中2は第51

回山の学習(大山登山・キャンプ)を行った。1日目は晴天に恵まれ大山登山を行い、全員が無事に登頂。美しい景色を堪能した。2日目は荒天のため、雨の中でテントを設営し、タープを張ってバーベキューを行った。夜には天候が回復し、

キャンプファイヤーを行うことができた。3日目は12のグループに分かれて野外活動を体験。初夏の大自然を満喫した。

芸術鑑賞

5月29日、劇団自由人会に

よる演劇『夢をかなえるゾウ』青春ロボット編』を鑑賞した。優れた演技と趣向の凝らされた舞台装置に引き込まれ、楽しく有意義なひとときを過ごすことができた。

教科担当会議

中学校において、日

頃の授業の様子や中間テストの結果についての情報が交換され、個々のすぐれた点や改めたい点が指摘、検討された。

高3読書会

6月1日、それぞれが希

望した本毎のグループに分かれ、お互いの意見を交換した。

塾対象学校説明会

6月5日、塾の先

生を対象に学校説明会を行い、金光学園の学習や行事、部活動などについての現状を詳しく説明した。また、午前中には全学年の授業を公開した。

耳鼻科検診

6月7日に中1、8日に

高1を対象に実施した。

眼科検診

6月7日に中1と中3、8

日に高1と高3を対象に実施した。

中3進路学習

6月22日に進路課長の

室相裕一教諭から進路についての話を聞いた。

高2修学旅行

6月11日～15日にシン

ガポール・マレーシア班は現地学生との交流やホームステイを体験した。11日～16日にオーストラリア班は南半球のクイーンズランド州のアサートンでファームステイなどを体験した。11日～15日に北海道班は北の大地の自然や文化・歴史にふれた。(紀行文は次号に掲載)

夢ナビライブ参加

6月16日、高1生

徒は大阪で行われた夢ナビライブに参加した。大学の先生の講義を受けたり、各大学のブースで説明を聞いたりして、大学進学・進路選択に対する意識を高めた。

学校説明会

6月23日、金光学園の受

験希望者と保護者を対象とした学校説明会を行い、午前中に全学年の授業を公開した。

英語検定試験実施

6月30日(日)第1

回の英語検定2次試験が本校の高校棟を利用して実施された。

進路委員会

7月1日・2日、高3学

年団は学力の現状分析と今後の指導方針を検討した。

高3 1学期終業式

7月18日、3年生

は大講義室で1学期終業式を行った。

お慶び

細川佳裕先生には、6月30日

に次男がご誕生、お慶び申し上げます。

お悔やみ

佐藤正俊副校長先生の義理の

お姉様には5月11日に、岡邊雅男先生の義理のお母様には5月14日に、旧職員西山英子氏には6月30日にご逝去、謹んでお悔やみ申し上げます。

教室の窓から

西山 龍明

「掃除をする意味がわからん。先生どう思う？」

ある日の教室で聞こえた言葉である。どこの学校でも掃除をする時間が設けられているし、多くの生徒が（おそらく）何の疑問もなしに掃除をしてきたのだと思う。掃除をすることは当たり前なこととして学校生活の日常に組み込まれており、一種の「行事」になっている。冒頭の疑問を口にした彼は、中学生ながら、その「当たり前前」に疑問を感じた。みなさんならどのように答えるだろうか。

「掃除をするのに意味なんて考えなくて良い」「そんなことは当たり前だ」という返事をし、立場の違いを使って議論を押しさえ込むことは簡単なことだ。ただ、同じ人間として生徒と向き合う時に、それではあまりに失礼な気がするのでも「一緒に考えてみることにした」。

「掃除は嫌なこと？」という問いかけに、「面倒くさいし、嫌だ」という答え。ここが疑問の出発点だと感じた。掃除が嫌だと感じない人は、「掃除をする」ことに疑問を持たないだろうし、すんなり「行事」に入り込める。つまり、「掃除をする意味」というのは全体の課題というよりも、「個」の課題ということになる。

掃除の現場に目を移すと、「掃除をしている人」と「掃除をしていない人」に分かれるのが実情だ。（当然、掃除をするように指導はしている）とこ

ろが、毎日の「行事」はきちんと成り立っている。それはなぜか。答えは簡単で、「掃除をしている人」がいるからである。「掃除をしている人」が「掃除をしていない人」の分まで掃除してくれるから成り立つし、きれいな環境にみんながられるのである。そんな簡単な答えに「掃除をしていない人」は気がつかない。ともすれば大人も見落としがちなのではないだろうか。

「掃除をする意味がわからん」と疑問をおつけてきた生徒にこう聞いた。「嫌なことは他人に押しつけて、自分は好きなことだけをやって、ちゃっかり利益は手に入れる。そんな大人をどう思う？」。その生徒は、「ずるいし、かっこ悪い。そんな大人にはなりたくないわ」と答えた。「それが、『掃除をする意味』なんじゃないかな」と言うのと、ポカンとした表情を一瞬浮かべた後「さうか！ わかった。今日から真面目に掃除するわ！」とすてきな笑顔で言い残して去っていった。

私たちが生きている社会は、自分がしなくても、誰かがしてくれることで回っていることが多くある。それは不可視な部分で進んでいくので意識しづらい。さらに「意味を感じないこと」や「嫌なこと（気持ちが進まないこと）」は、あやよくば、せずに終われないかなと考えてしまふのが人間の弱さでもある。そんな社会の縮図が「掃除」という学校行事であり、その中にこそ「世のお役に立つ」人材育成のヒントがあるのではないかと思う。と同時に、自分自身、大人として恥ずかしくない行動をしなければと改めて身の引き締まる思いがした出来事となった。

編集後記

授業の冒頭3〜5分を用いて、生徒に「心に残った大切な言葉」とそれにまつわる思い出を語ってもらっている。朝日新聞で連載されている鷺田清一の「折々のことば」に倣ったものなのだが、毎回個性的なエピソードが出てきて面白い。

先日、ある男子生徒が黒板に書いたのは「やるときはやれ」という言葉だった。中学1年生のときにテニス部の顧問に言われたのだという。誰もが一度は聞いたことのある、何の変哲もない注意だったかもしれない。けれど、あどけない13歳の心には強く響いた。

生徒の発表を聞きながら、はにかむように笑う青年の顔が不意に脳裏をよぎる。当時のテニス部顧問は大学を出たばかりの産休代理の教員だった。彼が学園の教壇に立ったのはわずかに1年。現在は郷里の愛媛に戻り、中学校の教員をしている。今ももうここにはいない教師の言葉が2年経った今も生徒の胸に息づいている。日々、子ども達に向き合いながら、そのような言葉をどれほど投げ掛けることができているだろうかと考えさせられた。

平成30年7月10日印刷
7月17日発行

編集者

金光学園やつなみ保護者会
やつなみ編集部

印刷所

倉敷市船穂町船穂二〇九五一―一
玉島活版所

発行所

浅口市金光町古見新田一三五〇
金光学園内
金光学園やつなみ保護者会

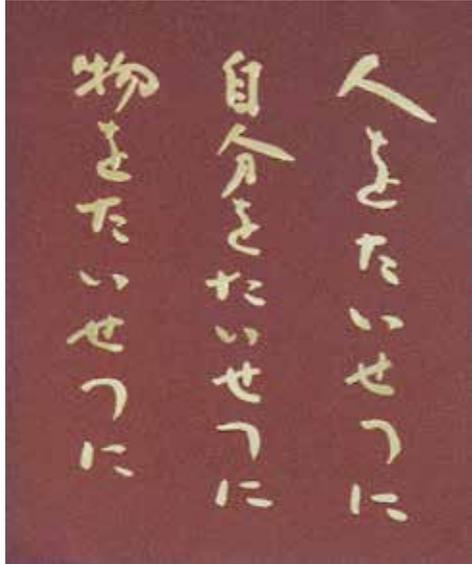
中3 沖繩 修学旅行



今年度は雨天のため
学年集合写真を屋内で
撮影しました

山の学習

中2



◎ほつま = 秀真

非常に優れ整い備わっていることの意。

「日本という国」の古異名の一つ。

創立後、生徒会や冊子の名に使用。

ほつま体育館、ほつま祭などで使われる。

.....
◎やつなみ = 八波

どこまでもひろがり栄えゆく願いをこめる。

金光教・学園・中学・高校の徽章のふちどり。

P T A機関誌創刊当時、会員から公募してつけた。

人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに

<http://www.konkougakuen.net>

E-mail info@konkougakuen.net